

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

基本目標1「幼児期の学校教育・保育の推進等」

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△

○幼児期の学校教育・保育の一体的提供等

・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

令和6年7月18日（木）  
幕別町次世代育成支援対策地域協議会 資料 2

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
					達成状況					
1	認定こども園整備事業	事業内容	就学前の子どもに関する教育・保育や、地域における子育て支援を総合的に提供する機能を備えた認定こども園は、幼稚園と保育所の機能を併せ持ち、保護者の就労状況やその変化に対し、柔軟に子どもを受け入れられる施設であることから、既存の幼稚園や保育所からの移行や新たな設置について支援します。 幕別区域における町立幼稚園と町立認可保育所については、町立の幼保連携型認定こども園への移行を目指します。	①こども課 ①保健福祉課 ②学校教育課	達成状況					
		進捗状況	【こども課・保健福祉課・学校教育課】わかば幼稚園と中央保育所について、わかば幼稚園の園児少人数化等に伴い、中央保育所の施設を利用して令和6年度から「保育所型」の認定こども園へ移行するため、5月に保護者説明会を開催し、6月定例会において『幕別町立認定こども園条例』の制定、関係条例の改正を行い、11月からの入所申込に向けて、10月には教育・保育内容に係る説明会を実施した。今後については、令和6年4月開園に向けて、認定こども園の認可申請を行う。		△	△	△	○		
		評価	【こども課・保健福祉課・学校教育課】わかば幼稚園と中央保育所の認定こども園の移行に向け、課題や検討事項を整理し、引き続き新施設の整備についても協議・検討を行う。		達成度合					
					①B ②A	B	A	A		
2	保育環境整備事業	事業内容	老朽化した保育所の計画的な施設整備に努めるとともに、保育所の待機児童の解消や必要な幼児教育や保育サービスの充実に努めます。 また、札内青葉保育園の建替えにより、令和4年4月から入所定員の増加を図ります。	①こども課 ①保健福祉課 ②学校教育課	達成状況					
		進捗状況	【こども課・保健福祉課】札内青葉保育園については、令和3年度に園舎、令和4年度に外構工事が完了したことから、定員が90人から120人に増加し、保育の必要量の増加へ対応した。 【学校教育課】令和3年度、令和4年度に開催された、わかば幼稚園運営協議会において、保護者の理解を得ながら早急に幼稚園のあり方について検討する必要があるなどの意見に対し、幕別中央保育所を活用した認定こども園への移行を令和6年4月に開設することで条例改正等を進めた。		①○ ②△	①○ ②△	①○ ②△	○		
		評価	【こども課・保健福祉課】札内青葉保育園の新園舎整備により、保育の供給量は増加したが、引き続き、利用者のニーズを把握した上で、必要に応じて、既存施設以外の保育の量の確保について検討を行う。 【学校教育課】地域の保護者を対象に「幼稚園及び保育所の幼児教育の共通化」、「認定こども園の設置及び運営主体や類型」及び「特別利用保育」などの内容を踏まえた説明会を開催し、幼児教育に関するニーズの確認に努めるとともに、関係課で認定こども園への移行を進めることができた。		達成度合					
					①B ②A	①A ②B	①A ②B	A		

○幼児期の学校教育・保育の充実

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△

・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
					達成状況					
3	異年齢保育の実施（わかば幼稚園）	事業内容	同一年齢の園児との触れあい以上に「人と関わる力」を育むことができるように、4歳から6歳までの園児が同じ集団（幼稚園）の中で生活し教育を受ける「異年齢保育」を行います。	学校教育課	達成状況					
		進捗状況	発達過程に応じた社会性が醸成されるよう異年齢グループを作り、交流する時間を設定し援助・指導を行い、幼児個々の発達過程に応じた教育を実践している。		○	○	○	○		
		評価	幼児個々の発達過程に応じた教育を実践することで、学びあいがあり異年齢保育を引き続き継続する。		達成度合					
					A	A	A	A		

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

4	預かり保育の実施	事業内容	女性の社会進出の拡大などにより、幼稚園の教育時間終了後、引き続き保育を希望する保護者が増えていることに対応するため、平日の保育時間終了後に預かり保育を行います。	学校教育課	達成状況				
		進捗状況	預かり保育（延長保育）に対応する受入体制の充実を図っている。		○	○	○	○	
		評価	利用者ニーズに合わせた受入体制が図られている。		達成度合				
					A	A	A	A	
5	満3歳児保育の実施（わかば幼稚園）	事業内容	3歳児に達した幼児が、4月の入園を待たずに年度途中から入園し集団での教育を受けることにより社会性を醸成するなど、成長著しい3歳児の自立助長を図ります。	学校教育課	達成状況				
		進捗状況	満3歳児に対応する保育・受入体制の充実を図っている。		○	○	○	○	
		評価	保育内容の充実にも努め、代替職員等の確保により受入体制が図られている。		達成度合				
					A	A	A	A	
6	幼児教育支援事業	事業内容	令和元年10月から幼児教育無償化により入園料・保育料が無償化されたことにより、幼稚園教育の振興に資することを目的に、私立幼稚園に在籍する幼児の保護者に対し、経済的負担の軽減の方策を検討していきます。	学校教育課	達成状況				
		進捗状況	私立幼稚園（幕別幼稚園）に通所する児童の保育料及び預かり保育に係る保育料について、国基準による給付を行っている。（参照：No.7 施設等利用給付事業 担当 子ども課）		○	○	○	○	
		評価	利用実績は、令和3年度113人、預かり保育49人、令和4年度79人、預かり保育23人、令和5年度20人、預かり保育68人の利用となっており、保護者の経済的負担の軽減につながっている。		達成度合				
					A	A	A	A	
7	施設等利用給付事業	事業内容	令和元年10月から幼児教育無償化により幼稚園や認可保育所などの特定施設の利用のほか幼稚園の預かり保育や認可外保育施設の利用者についても国の定める基準により給付を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ります。	子ども課	達成状況				
		進捗状況	未移行幼稚園や認可外保育所に通所する場合、また、幼稚園の預かり保育を利用する保護者に対し、国基準による給付を行っている。		○	○	○	○	
		評価	利用実績については、未移行幼稚園2人、幼稚園の預かり保育46人、認可外保育所4人となっており、令和4年度に幕別幼稚園が新制度移行したことにより、未移行幼稚園の利用実績人数は大幅に減となっているが、本事業により引き続き保護者の経済的負担の軽減に努める。		達成度合				
					A	A	A	A	

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

○保幼小連携等の取組の推進

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
 ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
8	保育所、幼稚園、小学校の連携	事業内容	交流会の開催などによる保育所や幼稚園、小学校との連携した取り組みを行うことにより、幼児期から小学校への教育活動の円滑な移行を進めるとともに、実態に応じた子どもの発達や学び、生活の連続性のある教育の充実を図ります。	①こども課 ②学校教育課	達成状況					
			○		○	○	○			
		達成度合								
					①B ②A	①B ②A	①B ②A	①B ②A		
		進捗状況	【こども課】特別な支援が必要な児童について、入学前に小学校や保護者と情報共有を行っている。 【学校教育課】幼児期から小学校の教育活動への円滑な移行を図り、幼稚園教育の充実や小学校への入学時における学校のつまづきをなくすため、関係機関が集まり情報共有を行い、教育支援委員会専門部会による幼稚園、保育所訪問の実施や、就学児検診時に学校相談ブースを設けるなど、連携体制の強化を図っている。							
		評価	【こども課】情報共有を行うことにより、スムーズに小学校での生活に移行することができている。 今後は、就学後の放課後における生活の場である学童保育所とも強い連携が必要となってくる。 【学校教育課】幼稚園・保育所と小学校との連携に向けた取組を促進し、各地域の実態に応じ、子どもの発達や学び、生活の連続性を踏まえた教育の充実を深めていく必要がある。							

基本目標2「地域における子ども・子育て支援事業の推進」

○地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
 ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
9	延長保育事業	事業内容	保護者の就労時間の多様化に対応するため、保育所の開所時間を超える入所児童の保育については、ニーズにあわせ、保育時間の拡大に取り組みます。	こども課 保健福祉課	達成状況					
			○		○	○	○			
		達成度合								
					B	B	B	B		
		進捗状況	平成22年度から札内青葉保育所、平成26年度から札内南保育園において、午後6時30分から午後7時までの延長保育を行っている。 現時点での利用ニーズは、すでに実施している2カ所の保育所で賄えるものであることから、町立の保育所については利用ニーズが拡大した際に検討する。							
		評価	保育時間を延長することによって、安心して就労できる環境づくりの一助となっている。							
10	放課後児童健全育成事業	事業内容	就労等のため、保護者が昼間家庭にいない小学生の健全育成に取り組めます。また、施設の拡大や必要なサービスの充実に努めます。	①こども課 ①保健福祉課 ②生涯学習課	達成状況					
			○		○	○	○			
		達成度合								
					①B ②C	①B ②C	①B ②A	①B ②A		
		進捗状況	【こども課・保健福祉課】幕別地域1カ所、札内地域4カ所、忠類地域1カ所に学童保育所を設置し、放課後における児童の生活の場を提供している。平成27年度より受入年齢を小学6年生までに拡大している。 【生涯学習課】地域のボランティア講師の協力により、小学4～6年生の長期休業中の居場所づくりと自主学習を支援するため、町内数カ所に「学び隊」を開設。							
		評価	【こども課・保健福祉課】特別な支援を必要とする児童の入所が増えているため、これまで以上に小学校などの関係機関との連携が必要。 【生涯学習課】令和4年度については、参加した児童、保護者から好評を得ているが、ボランティア講師の高齢化と人員不足に対して、充実を図る必要がある。 令和2年度 実施日数：0日、参加児童：0名、ボランティア講師：0名（新型コロナウイルス感染拡大予防のため事業中止） 令和3年度 実施日数：6日、参加児童：20名、ボランティア講師：10名（新型コロナウイルス感染拡大予防のため夏季休業の事業中止） 令和4年度 実施日数：12日、参加児童：42名、ボランティア講師：15名（夏季休業、冬季休業ともに実施） 令和5年度 実施日数：6日、参加児童：30名、ボランティア講師：6名（夏季休業に実施したもの。冬季休業も実施予定）							

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

11	子育て短期支援事業（ショートステイ）	事業内容	保護者が、疾病・疲労など身体上・精神上・環境上の理由により児童の養育が困難となった場合等の居場所の確保に努めます。	こども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	児童養護施設十勝学園（帯広市）において、児童を養育することが一時的に困難な場合や、経済的な理由で緊急一時的に児童を保護することが必要な場合等に、一定期間、養育・保護を行うことにより、児童及び家庭の福祉の向上を図っている。		○	○	○	○	
		評価	利用実績は、令和元年度：延べ72人（実人数4人）117日、令和2年度：延べ41人（実人数6人）68日、令和3年度は利用実績なし、令和4年度：延べ3人（実人数3人）3日となっている。令和2年度末頃からは利用が極端に減っており、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者ニーズが低下したものと推測される。引き続き、支援体制を維持することで、児童及び家庭における福祉の向上へとつなげていく。		達成度合				
					A	A	A	A	
12	地域子育て支援拠点事業	事業内容	子育て親子の交流の場や子育て等に関する相談や援助、地域の子育て情報、子育てに関する講習会等を実施し、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援します。	こども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	子育て支援センターあおば分室において、親子がふれあえる場、交流や友達づくりの場として施設を開放している。地域の保育所と連携した「あそびの広場」は、コロナ禍により中止していた私立保育所でも再開し、図書館で開催する「あそびの広場」については、前年度より回数を1回増やして実施している。「開放事業」は、満3歳で入園する児童が増加したことにより、2歳児の利用が激減していたことから、2歳児の回数を減らし、0・1歳の回数を増やす等の工夫をして実施している。また、令和5年度からベビーマッサージの導入により0歳児の利用が大幅に増えている。前年度に実施した子育て支援に関する講座が定員数を上回る参加希望があったことから、参加できなかった方のために今年度も同内容で開催することとし、ニーズに合った講座を企画している。更に、これまで「来室相談」と呼び、子育て等に関する相談・援助を行っていたものを「ぬくぬくの日」と呼び名を改め、「開放事業・あそびの広場」の延長線上に位置付けることで、気軽に相談できる場を設け対応している。これらの各種事業の実施を通して、町の社会資源など子育て関連情報の提供も併せて実施している。		○	○	○	◎	
		評価	継続利用する親子が数多くおり、親子の居場所や交流の場、友達作りの場として重要な役割を果たしている。親子遊びや子育て講座による学びの場については、定員に近い利用があることから、ニーズに応じた事業を提供できているものとする。令和5年9月末現在で、あそびの広場の利用状況は、前年度比で幕別地区で約50%、札内地区で約80%の増、開放事業についても約30%の増が見られた。相談支援事業についても、約60%の増があり、あそびの日の延長線上に位置付けたことで相談への敷居が低くなったことによる増加だと考えられる。		達成度合				
					A	A	B	A	
13	一時預かり事業（幼稚園型）	事業内容	教育時間以外の時間において、在園児を幼稚園において保育することにより、幼児の心身の健全な発達を図るとともに、保護者の子育てを支援します。	こども課 学校教育課	達成状況				
		進捗状況	現在、平日の保育時間終了後に限り、預かり保育を実施している。		○	○	○	○	
		評価	幕別区域における町立幼稚園と町立認可保育所の保育所型こども園への移行することで、休日の対応等を実施することが可能となる。		達成度合				
					A	A	A	A	
14	一時預かり事業（幼稚園型を除く）	事業内容	保護者の病院への通院、リフレッシュ等のため、認可保育所に通所していない乳幼児を一時的に預かる事業に取り組みます。	こども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	札内さかえ保育所併設の幕別子育て支援センター、幕別中央保育所併設の子育て支援センターまくべつ分室、忠類保育所併設の忠類子育て支援センターの3箇所において、生後6か月から（忠類子育て支援センターは満1歳から）就学前までの児童の一時保育事業を実施している。		○	○	○	○	
		評価	年間延べ利用者数は、令和2年度2,857人（幕別2,813人、忠類44人）、令和3年度2,802人（幕別2,727人、忠類75人）、令和4年度2,012人（幕別1,947人、忠類65人）と減少傾向となっている。要因としては、少子化、保育所待機児童の減少、幕別幼稚園が令和4年度から満3歳月から入園可能となった影響があり、また、新型コロナウイルス感染症の流行や児童の低年齢化により、保育士一人が受け入れられる人数が減っていること等が考えられる。令和5年度は利用者の約95%が0～2歳の利用であり、その半数が0歳児の利用となっている（令和5年9月末時点）。多様なニーズに対応するため、月曜から土曜までの週6日間開設しており、安心して子育てできる環境づくりの一助となっている。		達成度合				
					A	A	A	A	

拡大

拡大予定

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

15	病児・病後児保育事業	事業内容	病気の回復期にあり、集団保育が困難で、かつ、保護者の勤務等の都合により家庭での保育を行うことが困難な認可保育所の入所児童を保育所等の専用スペースで一時的に保育する事業に取り組みます。また、病児の保育事業の確保に努めます。	子ども課 保健福祉課	達成状況																	
		<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成度合</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table>					○	○	○	○		達成度合					B	B	B	A		
		○	○		○	○																
達成度合																						
B	B	B	A																			
進捗状況	平成22年度より札内青葉保育園において実施している。 令和5年度より札内青葉保育園において医療的ケア児保育を行っている。																					
評価	本事業について保護者への制度の浸透が進んでいると思われる。																					
16	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）	事業内容	育児の援助を行いたい者（まかせて会員）と育児の援助を受けたい者（おねがい会員）が会員登録し、会員相互の子育て援助活動の利用促進と子育て支援の充実に取り組みます。	子ども課 保健福祉課	達成状況																	
		<table border="1"> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成度合</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table>					◎	○	◎	○		達成度合					A	A	A	A		
		◎	○		◎	○																
達成度合																						
A	A	A	A																			
進捗状況	平成28年4月より開設し、まかせて会員養成講習会を例年1回開催してきたが、担い手増へと繋げるための取組として、令和5年度は夜間開催を実施し、参加しやすい環境づくりに努めてきた。令和2年9月より、援助活動内容に習い事の送迎を加え、多子世帯の家事支援、多胎児の育児支援を新設した。令和4年度は、児童の年齢を「小学生」から「中学生」までに引き上げ、家事支援、育児支援の要件緩和を行ったことにより、事業拡大へと繋がった。更にファミサポ事業の一環として、子育てサポーター（託児ボランティア）を立ち上げ、まかせて会員への移行と確保に向けた取組を進めている。																					
評価	開設以降、会員数は年々若干の増加傾向があり、令和2年度123人、令和3年度127人、令和4年度129人となっている。利用者延べ人数においても、令和2年度：送迎299人/預かり241人、令和3年度：送迎376人/預かり265人/家事支援2人、令和4年度：送迎860人/預かり41人/家事支援25人/育児支援13人と増加傾向が見られ、日曜日・祝日の預かりなど保育所では賅えない保護者のニーズにも対応している。また、保健師との連携により支援が必要な保護者の利用が増えていることなどから、地域における子育て支援の重要性を感じる一方で、まかせて会員不足に苦慮している状況があるため、子育てサポーターからの担い手の確保（まかせて会員増加）に期待している。令和5年度ファミサポ講習会においては、新規受講者は5名、内2名が受講修了予定となっており、例年比で若干少ない状況である。講習会の夜間開催については、少人数の参加に留まっている。																					
17	妊婦に対する健康診査	事業内容	妊婦の健診を通して、異常の早期発見、早期治療、早期療養を促し、母子の健康確保に取り組みます。また、母子保健の向上を目的として経済的負担の軽減を図るため、妊婦健診料の一部助成に取り組みます。	保健課 保健福祉課	達成状況																	
		<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成度合</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table>					○	○	○	○		達成度合					A	A	A	A		
		○	○		○	○																
達成度合																						
A	A	A	A																			
進捗状況	妊婦一般健康診査を1人あたり14回、令和4年度は延べ1,522回、超音波検査を1人あたり6回、延べ699回公費負担している。町独自の妊婦健診料の助成（上限20,000円）は、令和4年度は127回で、1回あたり10,858円となっている。令和5年度は、10月中旬で56回、1回あたり10,544円となっている。																					
評価	妊婦健康診査は、妊娠高血圧症などの妊娠中に起こりやすい疾患の早期発見・早期治療を行うことで、お産のリスクを低減する効果がある。結果で経過観察が必要な妊婦は妊婦訪問で状況を確認し、必要な支援を行っている。令和4年度の妊娠届出数は102件、令和5年度は10月中旬時点で71件であり、公費負担は例年同程度である。																					
18	乳児家庭全戸訪問事業	事業内容	乳児の健康状態を確認するとともに、育児不安を軽減し、健全に家庭生活を送ることができるよう、必要な保健指導等に取り組みます。また、経過観察等が必要な家庭に対し、適正な時期の保健指導等に努めます。	保健課 保健福祉課	達成状況																	
		<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成度合</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table>					○	○	○	○		達成度合					A	A	A	A		
		○	○		○	○																
達成度合																						
A	A	A	A																			
進捗状況	生後28日までの新生児とその母である産婦の全員を対象に保健師が家庭訪問し、生活環境・健康状態を把握し、保健指導を行っている。授乳等の心配事があれば助産師も訪問したり、家族のサポートが得られない方には適切な育児支援サービスを紹介したり、必要な場合は医療機関等と連携をとりながら支援を行っている。																					
評価	令和4年度の訪問数は133件（生後40日までの訪問は64件、41日から60日までは50件、61日以降は19件）、令和5年度10月中旬時点で59件（生後40日までの訪問は25件、41日から60日までは29件、61日以降は5件）であった。8割～9割は生後2か月までに訪問している。長期入院や里帰り出産などで61日以上訪問となり早期に訪問できない場合も、生後28日までに電話等で状況を把握し、母子の健康管理や不安解消により育児支援が行えている。																					

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

19	養育支援訪問事業、その他要保護児童等の支援に資する事業	事業内容	養育支援訪問は、要保護児童対策地域協議会の対象となった親子を対象とし、虐待に至らないよう訪問による支援を実施します。その他、育児不安などの子育て支援として、妊娠中及び産後の支援を充実するよう取り組みます。	保健課 こども課	達成状況				
		進捗状況	母乳不足、子どもが泣き止まない、家族の支援が困難で孤育でになっているなどの様々な課題に対して、継続的に訪問し、母子ともに支援している。必要時、関係機関と連携をとり、福祉サービス・保育サービスの紹介をしている。		○	○	○	○	
		評価	令和4年度は養育支援訪問事業として1世帯1回の支援を行っている。また、要保護児童対策地域協議会の対象ではないが、保護者への育児支援として、2世帯に6回子育て支援訪問している。令和5年度10月中旬までは、養育支援訪問なし、2世帯7回子育て支援訪問している。不安感・孤立感を解消し、育児を楽しめる環境を整えるよう努めており、保護者が困った時に保健師に相談しようと思える関係を築いている。		達成度合				
A	A	A	A						
20	利用者支援事業	事業内容	地域の子ども子育て支援事業が円滑に利用できるよう子育てに関する各般の問題に対し、相談や助言を行うとともに関係機関との連携についても支援し、子どもとその保護者に必要な支援に努めます。	こども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	子育て支援センターあおば分室を中心に、子育ての不安や悩みに対する相談や助言及び社会資源の提案を行い、保護者が安心して町のサービスを利用できるよう支援している。また、継続的な支援を見据え、保護者毎に「利用計画書」を作成することで、社会資源の利用状況や困りごとがないかの確認を行える仕組みをつくり、職員間においても共通認識の下で同じ目標に向かってサポートへと繋げることができている。		○	○	◎	◎	
		評価	年間相談件数は、令和元年度236件、令和2年度266件、令和3年度は277件、令和4年度は458件と急激な増加が見られる。令和4年度から実施した「利用計画書」の作成を通して、幅広い町の社会資源の提案により、利用者の選択肢が増え、ニーズに手厚く応えることができています。また、令和5年度は、敷居の低い相談支援となるよう、これまで「来室相談」と呼び、子育て等に関する相談・援助を行っていたものを「ぬくぬくの日」と呼び名を改め、「開放事業・あそびの広場」の延長線上に位置付けることで、気軽に相談できる場を設け対応している。		達成度合				
A	A	A	A						
21	実費徴収に係る補足給付を行う事業	事業内容	保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき実費徴収に係る費用の一部を助成します。	こども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	認可保育所においては様々な費用が保育費用に含まれているため、基本的には実費徴収を行っていないが、給食費（副食費のみ）については、3歳以上のみ徴収している。なお、一定の所得以下の方には、副食費の補足給付を行っている。		○	○	○	○	
		評価	一定の所得以下の方に対し、保護者の経済的負担の軽減につながっている。		達成度合				
A	A	A	A						
22	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	事業内容	特定教育・保育施設等への民間事業者の参入の促進に関する調査研究その他多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の設置または運営を促進します。	こども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	平成29年4月より事業所内保育所1カ所が新制度に移行して運営を開始している。（定員10名：うち地域枠3名）また、令和4年4月より民間参入による家庭的保育事業所を開設している。（定員5名）		○	○	◎	○	
		評価	必要な保育の量を確保するために、多様な担い手の確保が必要となる。		達成度合				
B	A	A	B						

拡大

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
 ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

○子育て支援のネットワークづくり

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
23	子育てサークル育成支援事業	事業内容	乳幼児やその保護者が相互の交流を行う団体を育成し、育児に対する助言や遊びの指導を行うなど、団体の自立した活動の支援を進めます。	子ども課 保健課 保健福祉課	達成状況					
					○	○	○	○		
		達成度合								
		A	A	A	A					
	進捗状況	子育てサークルは、保護者が中心となり、同年代の子どもを持つ親同士が子育ての知識を共有するなど、子どもを介してのふれあいの場、親子のかかわりの経験の場となっている。子育て支援センターから職員を派遣し、活動内容への助言や遊びの指導などを行うほか、定期的に子育てに関する情報提供を行っている。また、活動維持のため、令和2年度よりサークル体験会を実施し、サークルの周知や維持活動を積極的に行っている。								
	評価	活動に対する助言や遊びの指導は、保護者の主体的な活動の支えとなっている。しかし、令和4年度は休眠状態となった団体もあり、令和5年度では2団体のみ運営されている。サークルの維持（後継者不足）が継続的な問題となっており、体験会などを通して後継者への移行やサークルの維持、拡大（人数増）が図られるよう期待しているが、問題は解消されておらず、今後も継続的な支援が必要である。会員数減少の主な要因としては、満3歳月からの入園など集団保育の低年齢化に伴うものと思われる。								
24	子育て支援サービスネットワーク形成事業	事業内容	子育て支援に関する機関や子育てサークル等との連携を強化し組織化することで、子育て支援サービスの質の向上を図ります。	子ども課 保健課 保健福祉課	達成状況					
					○	○	○	○		
		達成度合								
		B	A	A	A					
	進捗状況	子育て支援センターあおば分室（地域子育て支援拠点事業）が核となり、図書館との連携による子育て情報の提供、発達支援センターや保健課と連携した相談支援を行っている。令和3年度末に「すきやき隊（子育てボランティア）」が解散後は、令和4年度から新たにファミリー・サポート・センター事業の一環で「子育てサポーター」を立ち上げ、町の託児を必要とする事業で活躍している。								
	評価	子育て支援サービスの充実に向けて関係する機関が集まり課題解決に向けた検討を行い、事業のフォローアップについて改善を図っており、今後も連携・検討・改善が必要である。また、ファミリー・サポート・センター事業（子育てサポーター）と連携した育児支援の拡大も期待される。								
25	子育て支援情報提供事業	事業内容	町の広報紙、ホームページ等を活用し、子育て家庭向け情報提供等とともに、地域における子育て支援に関する情報を一元的に把握できる子育て応援サポートブックを母子健康手帳の交付時に配布します。また、地域全体が協力し支えあえるよう、子育てに関する意識啓発を行います。	子ども課 保健福祉課	達成状況					
					◎	○	○	○		
		達成度合								
		A	A	A	A					
	進捗状況	母子健康手帳交付時に「子育てに関するお知らせ」「子育て応援サポートブックまくはぐ」「まくべつ子育てアプリリーフレット」を配付するとともに、児童の出生時や1歳を迎えたタイミングで「子育て支援センター事業案内」を送付するなど、子育て支援事業の周知に努めている。（事業内容は、町ホームページにも掲載済） ○「子育てに関するお知らせ」の内容 妊婦一般健康診査・特定不妊治療費の助成・妊婦健診料の助成・児童手当制度・乳幼児医療費助成・子育て支援センター・あそびの広場と健康相談・一時保育・新生児訪問・乳幼児健診・乳幼児予防接種・保育所について ○「子育て応援サポートブックまくはぐ」の内容 幕別町の子育てマップ、ライフステージ別子育てカレンダー、母子健康手帳と妊婦一般健康診査受診票の交付、各種手当や医療費助成、各保育所、町内の公園施設、子育て支援センター事業、ファミリー・サポート・センター事業、子育て短期支援事業、子育て世代包括支援センター、新米パパの心構え、子どもの権利に関する条例について ○「まくべつ子育てアプリリーフレット」の内容（各種健診・相談等、保育所・小学校等配付） 各種機能の説明（予防接種のスケジュール管理、お子さんの成長記録、各種情報のプッシュ通知）などについて ○子育て支援センター事業「おやこ遊び・ぱぱとあそぼう・ファミリーデー」などの開催時の様子をInstagramに投稿し、子育て世代に事業内容の周知を図り、参加意欲の向上へつなげるための取組として行っている。								
	評価	子育て支援に関する情報は、母子健康手帳交付時は元より、転入された方や相談を受けた際などにも各種資料を活用し情報提供に努めている。また、子育てアプリの導入から3年以上が経過し、登録者数が伸びてきていることから各種情報提供効果により子育てに関する支援事業が地域に認知されてきている。								

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

26	子育てボランティアの推進	事業内容	子育てボランティアと連携し、子どもの見守りや育児相談支援に取り組みます。	子ども課 保健福祉課	達成状況									
		<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					○	○	○		○			
		○	○		○	○								
達成度合														
					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>A</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table>					B	B	A	A	
B	B	A	A											
進捗状況			令和3年度末に「すきやき隊（子育てボランティア）」が解散後は、令和4年度から新たにファミリー・サポート・センター事業の一環で「子育てサポーター」を立ち上げ、すきやき隊の後を引き継ぎ、町の託児を必要とする事業で活躍している。											
評価			以前は、託児のニーズに対して人員不足により応えられないケースもあったが、「子育てサポーター」の立ち上げにより、ニーズに合わせた安心・安全な託児を行うことができ、地域の子育てボランティアの推進へと繋がっている。 子育てサポーター活動回数：令和4年度10回、令和5年度（9月末）8回 延べ活動人数：令和4年度32人（実人数9人）、令和5年度17人（実人数8人）											

○児童の健全育成

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考				
27	多世代交流事業の推進	事業内容	異世代間のふれあいを通して、地域ぐるみの子育て支援の仕組みづくりを深める心豊かな交流事業を推進します。	子ども課 保健福祉課	達成状況									
		<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					○	○	△		○			
		○	○		△	○								
達成度合														
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	C	A	
A	B	C	A											
進捗状況			幕別子育て支援センターでは、ファミリーデー「おもちつき」（世代間交流）の実施を通して、子育て世代間の交流は元より、子育て支援センター近隣町内会の高齢者の方を行事に招待することで、高齢者と子育て世代との触れ合いや交流を行う。コロナ禍において、食に関する行事が縮小されたため、交流方法を変更し、年に6回、「ほのぼの広場」という開放の日を設け、自由に遊びに来てもらう事業を新設した。											
評価			「おもちつき」については、令和元年度参加者は147名、高齢者25名、令和2年度はコロナ禍により高齢者の招待を見送り、令和3年度は、コロナ禍により高齢者の招待人数を制限して実施。令和4年度はコロナ禍により中止とした。令和5年度からは、異世代間交流事業「ほのぼの広場」を新設し、高齢者と子育て世代との交流の場となっており、奇数月に開催している（年6回）。10代から70代までの幅広い世代の参加（令和5年9月末実績23人）があった。周知と参加者増を狙い、近隣町内会でチラシの配布や広報掲載を行っているが、更なる工夫も検討する必要がある。											
28	児童館の活用事業	事業内容	子育て家庭が気軽に利用できる自由な交流の場として、児童館の有効活用を検討します。	子ども課 保健福祉課	達成状況									
		<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					○	○	○		○			
		○	○		○	○								
達成度合														
					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td></td> </tr> </table>					B	B	B	B	
B	B	B	B											
進捗状況			町内の3カ所に設置して土曜日に施設開放を行い、自由に利用できる環境を整えている。											
評価			現在の施設開放は土曜日のみで児童の利用を制限している。子育て世代が自由に交流できる場の確保について、児童館の利用も含めて検討の必要がある。											

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

29	子ども会の取組の活用事業	事業内容	子ども会の地域活動を支援し、指導者の育成や活動を通じて、小学生の健全育成に取り組みます。	生涯学習課	達成状況				
					○	○	○	○	
		達成度合							
					C	C	C	B	
	進捗状況	子ども会育成連絡協議会に対し、補助金の交付や福祉バス、スクールバスの提供などを実施。							
	評価	令和5年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を実施しつつ事業を概ね実施することができた。今後もコロナ感染症対策を実施しつつ、子ども会の地域活動の支援や小学生の健全育成に継続して取り組む。							
30	民生委員・児童委員活動事業	事業内容	地域の身近な相談相手として、子どもたちの健全育成に取り組むとともに、関係機関と連携の上、児童虐待の早期発見や予防に努めます。	福祉課	達成状況				
					○	○	○	○	
		達成度合							
					B	B	B	B	
	進捗状況	民生委員児童委員による「幕別町教育の日」（毎月19日）の学校訪問や、運動会や発表会などの学校行事への出席を行っている。夏休み期間中に主任児童委員の学校訪問を実施するとともに、児童部会だより（年4回発行）を配布している。また、地区担当民生委員の紹介文書を町内会の班に回覧したほか、町内会行事に民生委員として出席することで、地域住民への民生委員活動の周知を図っている。							
	評価	新型コロナウイルス感染症による活動の制限もなくなり、児童委員と学校が情報交換を行うことができている。また、町内会行事も再開し、民生委員児童委員として関わりを持つことで、地域住民からの認知度も上がり、学校を含め地域が一体となった子どもたちの見守り活動を行えた。							

基本目標3「親子の健康の確保と育成支援」

○妊娠・出産期からの切れ目のない支援

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
 ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
31	子育て世代包括支援センター事業	事業内容	母子保健及び育児に関する総合的な相談支援や妊産婦等の身体的及び精神的健康状態や育児、生活の支援状況を把握し、手厚い支援を要する妊産婦等の支援プランの策定及び評価を行い、妊娠期から子育て期の切れ目のない支援体制を構築します。	保健課 保健福祉課	達成状況					
					○	○	○	○		
		達成度合								
					A	A	A	A		
	進捗状況	身近な総合相談窓口として、幕別・札内・忠類地区で支援を展開し、広報やホームページ、子育てハンドブック等で周知している。妊娠届時や妊婦訪問、新生児訪問などの機会をとらえ、子育て世代の住民の母子保健を主軸として支援を行っている。令和4年度の対応数は412件、令和5年度は10月中旬時点で254件であった。手厚い支援の必要な対象には支援プランを作成し必要時ケース検討会を実施している。また、定期的に子育て支援センターと子育て支援に関するカンファレンスを実施している。								
	評価	妊娠届出、妊婦訪問、新生児訪問は、保健師または助産師が対応し継続的な支援を行っている。また、妊娠中から支援を継続し、家族のサポートがない場合や産後の育児不安がある場合、産後ケア事業などの支援に速やかにつながられている。また、必要時は子育て支援センター、発達支援センター、医療機関等と連携を取りながら、支援する体制を整えている。								

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

32	利用者支援事業【再掲 No20】	事業内容	地域の子ども子育て支援事業が円滑に利用できるよう子育てに関する各般の問題に対し、相談や助言を行うとともに関係機関との連携についても支援し、子どもとその保護者に必要な支援に努めます。	子ども課 保健福祉課	達成状況					拡大
		進捗状況	子育て支援センターあおば分室を中心に、子育ての不安や悩みに対する相談や助言及び社会資源の提案を行い、保護者が安心して町のサービスを利用できるよう支援している。また、継続的な支援を見据え、保護者毎に「利用計画書」を作成することで、社会資源の利用状況や困りごとがないかの確認を行える仕組みをつくり、職員間においても共通認識の下で同じ目標に向かったサポートへと繋げることができている。		○	○	◎	◎		
		評価	年間相談件数は、令和元年度236件、令和2年度266件、令和3年度は277件、令和4年度は458件と急激な増加が見られる。令和4年度から実施した「利用計画書」の作成を通して、幅広い町の社会資源の提案により、利用者の選択肢が増え、ニーズに手厚く応えることができている。また、令和5年度は、敷居の低い相談支援となるよう、これまで「来室相談」と呼び、子育て等に関する相談・援助を行っていたものを「ぬくぬくの日」と呼び名を改め、「開放事業・あそびの広場」の延長線上に位置付けることで、気軽に相談できる場を設け対応している。		達成度合					
		事業内容	町の広報紙、ホームページ等を活用し、子育て家庭に向け情報提供等するとともに、地域における子育て支援に関する情報を一元的に把握できる子育て応援サポートブックを母子健康手帳の交付時に配布します。 また、地域全体が協力し支えあえるよう、子育てに関する意識啓発を行います。	子ども課 保健福祉課	達成状況					
33	子育て支援情報提供事業【再掲 No25】	進捗状況	母子健康手帳交付時に「子育てに関するお知らせ」「子育て応援サポートブックまくはぐ」「まくべつ子育てアプリリーフレット」を配付するとともに、児童の出生時や1歳を迎えたタイミングで「子育て支援センター事業案内」を送付するなど、子育て支援事業の周知に努めている。（事業内容は、町ホームページにも掲載済） ○「子育てに関するお知らせ」の内容 妊婦一般健康診査・特定不妊治療費の助成・妊婦健診料の助成・児童手当制度・乳幼児医療費助成・子育て支援センター・あそびの広場と健康相談・一時保育・新生児訪問・乳幼児健診・乳幼児予防接種・保育所について ○「子育て応援サポートブックまくはぐ」の内容 幕別町の子育てマップ、ライフステージ別子育てカレンダー、母子健康手帳と妊婦一般健康診査受診票の交付、各種手当や医療費助成、各保育所、町内の公園施設、子育て支援センター事業、ファミリー・サポート・センター事業、子育て短期支援事業、子育て世代包括支援センター、新米パパの心構え、子どもの権利に関する条例について ○「まくべつ子育てアプリリーフレット」の内容（各種健診・相談等、保育所・小学校等配付） 各種機能の説明（予防接種のスケジュール管理、お子さんの成長記録、各種情報のプッシュ通知）などについて ○子育て支援センター事業「おやこ遊び・ばばとあそぼう・ファミリーデー」などの開催時の様子をInstagramに投稿し、子育て世代に事業内容の周知を図り、参加意欲の向上へとつなげるための取組として行っている。		◎	○	○	○		
		評価	子育て支援に関する情報は、母子健康手帳交付時は元より、転入された方や相談を受けた際などにも各種資料を活用し情報提供に努めている。また、子育てアプリの導入から3年以上が経過し、登録者数が伸びてきていることから各種情報提供効果により子育てに関する支援事業が地域に認知されてきている。		達成度合					

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
 ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

○子どもや母親の健康の確保

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
34	健康診査事業【No17及び18関連】	事業内容	妊婦や乳幼児の健診を通して、異常の早期発見、早期治療、早期療養を促すとともに、各種相談指導を通して、母子の健康確保及び適切な育児支援に取り組めます。 また、母子保健の向上を目的として経済的負担の軽減を図るため、妊婦健診料の一部助成に取り組めます。	保健課 保健福祉課	達成状況					
		進捗状況	乳幼児健診は、幕別・札内・忠類の3地区で実施し、地区の出生数に合わせて、健診の方法を工夫している。出生数の少ない忠類地域では、乳幼児健診（3・4か月児、7・8か月児、1歳半児、3歳児）を集約し年4回実施し、個別指導や育児支援を実施している。幕別地区は3・4か月児と7・8か月児、1歳半児と3歳児を一緒に行っており、隔月実施している。札内は各健診を毎月1回ずつ実施している。新型コロナウイルス感染症の影響で、離乳食の試食を中断していたが、令和5年度から再開し、よりわかりやすく離乳食について理解してもらおうができている。		○	○	○	○		
		評価	令和4年度の健診受診率は3・4か月児健診100%、7・8か月児健診99.3%、1歳半児健診98.8%、3歳児健診98.7%であった。未受診者には、電話連絡や家庭訪問、保育所訪問等で状況を把握し支援を行っている。療育が必要な場合に早期療育につなげることを目的として、平成30年度から1歳6か月健診においても、発達支援センターの保育士もスタッフとして従事し、療育の必要性や見直しについて判断している。		達成度合					
			A	A	A	A				
35	健康教育事業	事業内容	離乳食講習や調理実習、親子遊び、講演等を通して、子どもの健全な発育・発達を支援し、参加者同士の情報交換や仲間づくり、育児不安の軽減等に取り組めます。	保健課 保健福祉課	達成状況					
		進捗状況	離乳食講習会・よちよちサロン・すくすく相談・パオパオ赤ちゃんサロン・親子クッキング・こどもクッキング・出前講座など、子どもの健全な発育・発達を支援するとともに、参加者同士の情報交換・仲間づくりの場を提供している。		○	○	○	○		
		評価	様々な年代に対しての健康教育を実施することで、参加者同士の情報交換や健康や育児についての知識を得る場となっている。令和4年度は、小学生を対象としたこどもクッキング教室のみ感染対策を行って会食を実施し、幼児向けの健康教育は、コロナ対策のため試食及び会食の提供はせず講話を中心とした内容で実施した。離乳食講習会は65人、よちよちサロンは50人、すくすく相談は51人、パオパオ赤ちゃんサロンは23人、こどもクッキングは59人参加している。令和5年度以降は、コロナ対策で中止していた試食、会食の提供を再開する。		達成度合					
			A	A	A	A				
36	妊婦等への出産準備教育（パパママ教室）	事業内容	妊婦等の妊娠、出産、育児に関する正しい知識の普及を図るとともに、妊婦同士の交流、情報交換の場を提供します。 また、先輩ママとの交流を通じた育児不安の軽減等に努めます。	保健課 保健福祉課	達成状況					
		進捗状況	令和4年度はAコース（妊娠中の食事・育児体験）3回、Bコース（お口の健康・お産を知ろう）3回の計6回実施。日中と夜間に開催し、妊婦やその夫、産婦に対して助産師や保健師、管理栄養士、歯科衛生士が保健指導を行った。R5年度からは、Aコース、Bコース全て夜間に開催し、より夫婦で参加しやすい開催にしている。		○	◎	○	○		
		評価	令和4年度の延受講者数は妊婦42人、妊婦の夫37人であった。平成29年度から夫に向けた育児手枝（沐浴・抱き方）の体験を実施し好評であるため、今後も夫が参加しやすい教室を継続して行う。 忠類地区ではパオパオ赤ちゃんサロンを年6回実施し、妊娠期から産後期の母親同士の交流や保健指導を行っている。また妊婦同士や育児中の母等と交流ができている。		達成度合					
			A	A	A	A				

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

37	家庭訪問事業【No18及び19関連】	事業内容	妊産婦や乳幼児の健康状態を確認するとともに、育児不安を軽減し、健全に家庭生活を送ることができるよう、必要な保健指導等に取り組みます。また、経過観察等が必要な家庭に対し、適正な時期の保健指導等に努めます。	保健課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	妊娠30週前後のすべての妊婦を対象に保健師が家庭訪問している。アンケートを実施しその内容に合わせた、妊娠中の保健指導や出産にむけての準備等のアドバイス、出産後の児との生活を安心して過ごせるよう支援している。		○	○	○	○	
		評価	令和4年度は103人に家庭訪問を実施した。令和5年度10月中旬時点で55人に家庭訪問を実施した。令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で訪問を希望しない方が多く、電話や札内支所等での面談で対応していたが、令和4年度は感染対策を行いながら家庭訪問することができた。初妊婦は、妊娠期の体調相談、出産の準備、出産後の生活をイメージする機会となっている。第2子以降の妊婦にとっては、上の子の対応を相談する機会となっている。また、生活困窮者、家族の支援が難しい方に対しては、出産前から医療機関・福祉・子育て支援の各機関と連携を取って支援体制を整えることが可能となっている。切迫早産で入院中や里帰り出産のため訪問できない方については、支援の必要性が高いと判断した場合、本人や医療機関と連絡を取り産後早期に対応できるようにしている。		A	A	A	A	
38	予防接種事業	事業内容	子どもの予防接種に関する正しい知識の普及や個別の接種計画の助言、指導等、疾病予防に取り組みます。	保健課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	新生児訪問・乳幼児健診において、予防接種についての適切な情報提供を行っている。定期予防接種が円滑に行われるよう、医療機関への委託を実施している。		○	○	○	○	
		評価	乳児期の定期予防接種が増えていることで、予防できる感染症が増えている反面、接種間隔などの相談を個別に行う必要がある。最新の予防接種の情報を、訪問時、乳幼児健診時、広報、ホームページ等でお知らせするほか、転入者へは月齢に合わせてハガキを送付し情報不足による未接種者をなくすよう対策を講じている。		A	A	A	A	
39	母子健康相談事業	事業内容	母親の妊娠、出産、育児に伴う不安を軽減し、子どもの健全な発育・発達を支援するよう、母子の健康相談に取り組みます。対面、電話、メール、オンラインなど、相談しやすい体制を整えています。	保健課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	幕別、札内、忠類の3カ所で、平日は毎日健康相談を実施し、気軽に相談できる体制を整えた。母子の相談は、令和4年度は811件、令和5年度10月中旬現在で463件である。		○	○	○	○	
		評価	母子保健に係る相談は、離婚、生活面、経済面、養育など相談内容が多様化しており、保健師だけでは対応できない相談が増えている。福祉課、こども課、医療機関、児童相談所等と連携しながら支援を深めている。		A	A	A	A	

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

40	母子健康手帳交付事業	事業内容	妊娠の届出の際に、母子健康手帳の交付を行うとともに、生活状況や家族関係の把握をするなど、母親が健康で安心して妊娠期を過ごし、出産に臨めるよう、保健指導、相談に取り組みます。	保健課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	令和4年度の妊婦届出数は102件、令和5年度10月中旬時点で68件である。母子健康手帳の交付の際、妊婦の状況を把握し、安心して妊娠・出産に臨めるよう、保健指導を実施している。平成29年度からは、札内支所に保健師が常勤して健康相談を実施し、毎週水曜日は夜間窓口も開設している。		○	○	○	○	
		評価	母子健康手帳交付時に全件保健師が面接することにより、経済面や精神面などのさまざまな課題に対し、早期に支援を開始できている。また、必要時は産科医療機関との連携もあり、支援が必要な妊婦の情報交換も行っている。		達成度合				
					A	A	A	A	
41	歯科保健事業	事業内容	歯科医師との連携を強化し、歯科検診を受けられる体制を維持するとともに、歯科保健の重要性を意識づける教育・相談事業に取り組みます。また、幼児健診（1歳半児及び3歳児）時に、虫歯予防に効果的なフッ素塗布（無料）を実施します。	保健課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	歯科健診は、妊娠期、1歳半・3歳児健診で実施している。健康相談・教育としては、妊娠期（母子健康手帳交付・パパママ教室）・乳児期（7カ月児健診・よちよちサロン）・幼児期（1歳半・3歳児・就学時健診）・学童期（こどもクッキングはみがき教室）に実施している。フッ素塗布は1歳半・3歳児健診で無料で実施。また、町内歯科医師会が年2回低料金で実施する「フッ素の日」の周知に協力している。		○	○	○	○	
		評価	う歯数平均は横ばいだが、1人におけるう歯罹患率が高く、今後も個別アプローチに重点を置いた健康教育が必要と思われる。		達成度合				
					A	A	A	A	
42	産後ケア事業	事業内容	産後6か月未満の産婦及び乳児を対象に、助産師による訪問又は病院の産後ケアセンターにおいて、授乳の支援、心身のケア、沐浴などの育児指導を行います。妊娠中からの相談支援により、対象者には支援プランを作成し、委託先にも情報提供を行い切れ目のない支援を行います。	保健課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	平成29年度からアウトリーチ型（訪問）、令和元年度からデイサービス型を実施。家族による支援が難しい場合や、産婦の体調管理や授乳指導、乳児への働きかけが必要な場合などに実施している。		○	○	○	○	
		評価	訪問型については、令和3年度延べ9件、令和4年度は延べ29件、令和5年度10月中旬時点延べ18件の利用があり、利用件数の増加がみられている。助産師が自宅に訪問し支援を行うことによって、安心して相談を行うことができる。その後も継続した支援が必要な場合は保健師が家庭訪問や電話等で支援している。 デイサービス型については、令和3年度延べ4件、令和4年度延べ14件、令和5年度10月中旬現在延べ17件の利用があった。年々利用者は増加しており、今後も、産婦や乳児の心身のケアの場として必要な方が利用できるよう支援していく。		達成度合				
					A	A	A	A	

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

43	産前産後サポート事業（ママカフェ）	事業内容	妊婦または産後1年までの産婦と乳児を対象に、育児の情報提供と困りごとや悩みを出し合い不安を解消する場とします。札内地区1か所・忠類地区1か所で実施し、助産師による相談の場も設けることで、育児全般に関する困りごとにも対応できるようにします。また、食事に関する悩みや相談に対応できるよう、管理栄養士による月齢に合わせた離乳食の展示やメニューの工夫など伝えている。	保健課 保健福祉課	達成状況					拡大
		進捗状況	平成30年度から実施している。月毎のテーマに合わせた講話や妊産婦同士の交流を図っている。令和3年度から月1回の個別相談日を実施している。令和4年度からママ同士のお話会（離乳食編）を新たに実施し、管理栄養士が、大人のメニューからの取り分け、離乳食の展示、手作りの離乳食を簡単に作ることでできるコツを伝え、令和5年度からは新型コロナウイルス感染症による活動の制限もなくなったことから試食も取り入れて、好評を得ている。		○	◎	◎	◎		
		評価	令和4年度は延べ194人、令和5年度10月中旬時点で延べ60人が利用している。仕事をしている妊婦が多く、日中の参加が難しい面もあり、妊婦の利用数が少ない。母子健康手帳交付時やパパママ教室等で、妊娠中の体調管理やお産、産後の生活について考える大切さについて伝え、より安心して妊娠期から産後を過ごせるよう働きかけていく必要がある。		A	A	A	A		

○食育の推進

- ・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△
- ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
44	食に関する学習機会や情報提供事業	事業内容	妊産婦をはじめ、子どもの成長段階に応じた食に関する正しい知識と望ましい食習慣などに関する学習の機会や「給食だより」等を通じて食の情報提供に努めます。	保健課 保健福祉課 給食センター	達成状況					
		進捗状況	【保健課・保健福祉課】妊婦から学童期の適正な食生活について、パパママ教室、乳幼児健診、よちよちサロン、パオパオ赤ちゃんサロン、すくすく相談、保育所給食「給食だより」、こどもクッキング教室を通して、それぞれの時期に応じた食育の推進に取り組んでいる。 【給食センター】月1回発行の「給食だより」を小中学校に配付し、児童生徒に対して食の重要性や食事のマナー、夏・冬休期間中の食を通じた過ごし方等、食育に関する情報を発信した。		○	○	○	○		
		評価	【保健課・保健福祉課】妊娠期から乳幼児期・学童期まで食の大切さについて学び、実践し、身に付けることができるよう、今後も継続した取組が必要である。農畜産物の地産地消推進や野菜摂取量の増加に対する取組も併せて実施していく。 【給食センター】食に関する情報は、学校を通じて児童生徒に提供されており、今後も継続した情報発信が必要である。		A	A	A	A		

- ・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△
- ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

○思春期保健対策の充実

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
45	思春期保健対策事業	事業内容	性や性感染症予防に関する正しい知識の普及を図るとともに、喫煙防止・薬物乱用防止等に関する教育活動全体を通じて、計画的・組織的に実施するよう指導するとともに、相談体制や情報の提供等に取り組みます。	①保健課 ①保健福祉課 ②学校教育課	達成状況					目標を下回る
		進捗状況	【保健課・保健福祉課】令和2年度に中学校から「幼児とのふれあい」について依頼があり、保育士・保健師で妊婦体験や育児体験を実施した。令和3年度以降は学校からの依頼がないため実施していない。 【学校教育課】教育委員会では、性感染症予防及び喫煙防止・薬物乱用防止教育の教育活動全体を通じて、計画的・組織的に実施するよう各学校に指導している。また、文部科学省が発行する関係資料等を小・中学校に提供している。なお、各学校においては、体育科・保健体育科の時間はもとより、関連教科や道徳の時間、特別活動、総合的な学習の時間等教育活動全体を通じて計画的・組織的に実施している。		○	○	○	○		
		評価	【保健課・保健福祉課】今後も、正しい知識の普及のため、依頼があれば対応していく。依頼内容によっては、帯広保健所の担当課との連携を図り、より分かりやすい情報を伝えることができるよう工夫していく。 【学校教育課】喫煙・薬物等に関する教育、情報提供を強化していく必要がある。また、性感染症予防及び喫煙防止・薬物乱用防止教育は、児童生徒に性感染症予防及び喫煙防止・薬物乱用防止に関する正しい知識と適切な意思決定ができる能力を身に付けさせるために必要であることから、引き続き実施する。		A	①C ②A	①C ②A	①C ②A		

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
 ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

○小児保健医療の充実

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
46	小児保健医療の充実・確保	事業内容	小児保健医療の充実・確保は、安心して子どもを生み育てる基盤となることから、医療機関等との連携や情報の提供等に取り組みます。 児童養育家庭等の経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費助成制度を継続して取り組みます。	保健課 住民課 保健福祉課	達成状況					拡大
		進捗状況	【保健課・保健福祉課】広報やホームページ等で救急医療機関等の情報提供を行っている。電話相談や健康相談があった場合、適切に情報提供を行っている。 【住民課】子ども医療費助成事業の対象を令和5年10月から高校生世代（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）までに拡大し、小児医療の確保を図っている。		○	○	○	◎		
		評価	【保健課・保健福祉課】今後も必要な情報が得られるよう、情報提供を行う。 【住民課】子ども医療費助成事業の継続により、安心して子どもを産み育てる環境の整備が図られている。		A	A	A	A		
47	子ども医療費助成事業	事業内容	児童養育家庭等の経済的負担の軽減を図るため、子どもの医療費の一部助成に取り組むとともに、国、道等の動向を踏まえ、効果的な支援を検討します。	住民課	達成状況					拡大
		進捗状況	平成23年10月より対象を小学校卒業（住民税課税・非課税ともに助成対象だが、所得制限あり。）まで拡大し、助成内容も入院に係る食事標準負担額を除き、入院・通院ともに医療費の実質無料化を実施した。平成27年10月からは対象を中学校卒業まで拡大するとともに、所得制限の撤廃を実施した。さらに、令和5年10月から対象を高校生世代（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）までに拡大した。		○	○	○	◎		
		評価	子ども医療費助成事業の継続により、安心して子どもを産み育てる環境の整備が図られている。		A	A	A	A		

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
 ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

○次代の親の育成

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
48	子育てに関する男女参画の啓発	事業内容	男女が協力して家庭を築き、子どもを生み育てることの意義に関する啓発や情報提供に取り組みます。	こども課 保健課 保健福祉課	達成状況					
		進捗状況	【こども課】幕別子育て支援センターでは「ばばとあそぼう」を実施し、父親同士の交流・遊びの場の提供や育児に関する情報提供などを行うとともに、協働で家庭を築き子育てを行う観点での意識の啓発に努めている。また、保育所への送迎時に父親が来た場合に声掛けや、育児相談があれば対応するなど、個別の対応を行っている。さらに、冊子「子育て応援サポートブックまきはぐ」に父親になる心構えや離乳食の作り方を掲載して、子育ての参画を促している。 【保健課・保健福祉課】パパママ教室は、多くのパパに参加してもらえるよう、令和5年度から全ての講座で夜間の開催をしている。このことにより、パパの参加が増えており、妊婦体験や育児体験など夫婦で参加しやすい講座を展開している。		○	○	○	○		
		評価	【こども課】「ばばとあそぼう」では、父親の参加が年々増加しており、事業の認知と育児に対する父親の関心が高まってきている。アンケートをもとに父親にとって関心が高い内容を提供し、今後も参加を働きかけていく。 【保健課・保健福祉課】引き続き、ニーズに合わせた健康教育等、意識啓発・情報提供を行っていく。		A	A	A	A		

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

49	乳幼児ふれあい体験事業	事業内容	子どもを産み育てることの意義、子どもや家庭の大切さが理解できるよう、保健、福祉、教育分野が連携し、中高生を対象に乳幼児とのふれあいの機会を提供します。	①子ども課 ②保健課 ②保健福祉課	達成状況					目標を下回る
		進捗状況	【子ども課】中学校が実施する職場体験授業による認可保育所への訪問依頼に応じ、中学生が乳幼児と触れ合う機会や、保育士が中学校へ訪問し、保育士の職務内容について講義を行っているが、令和5年度については、職場体験事業のみ実施。 【保健課・保健福祉課】令和3年度、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施である。令和5年度も新型コロナウイルス感染症やその他感染症の影響もあるため、未実施である。		○	○	○	○		
		評価	【子ども課】中学生が実際に乳幼児と触れ合う機会や保育士の職務内容について学ぶ機会となり、子どもを育てる意識の醸成に繋がる事業であり、今後も訪問依頼に応じて実施していく。 【保健課・保健福祉課】新型コロナウイルス感染症やその他感染症の情勢を見ながら実施を検討していく。		達成度合					
					①B ②C	①B ②C	C	①B ②C		

基本目標4「特に支援を必要とする子どもへの取組の推進」

○児童虐待防止対策の充実

- ・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△
- ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容/取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
50	子どもの権利の普及・啓発	事業内容	子どもの権利を尊重し、子ども一人ひとりを守り育てるため、「幕別町子どもの権利に関する条例」の普及・啓発に継続して取り組みます。	子ども課 保健福祉課	達成状況					
		進捗状況	平成22年4月1日に「幕別町子どもの権利に関する条例」を制定し、同年7月1日から施行。住民向けリーフレットの配布及び住民や保育所・学校等の子どもに係わる施設関係者への説明会や子どもの権利に精通する大学教授による講演会を開催。平成23年度からは、小学校高学年、中学生向けに作成したパンフレットを例年配布し、社会科、道徳、学活等で、パンフレットを活用した授業が行われている。平成25年度には、保育所、幼稚園、小・中学校、学童保育所に啓発用パネルを設置。平成30年度からは、図書館全館で例年11月（児童虐待防止推進月間）に、子どもの権利に関連する書籍の展示コーナーを設置し、令和元年度からは幕別子育て支援センターでも展示を開始。さらに令和元年度から、町内の小学生を対象に「子どもの権利」に関する絵画コンテストを実施しており、授業内で作品制作に取り組む学校も増えてきている。令和2年度には、町出身オリンピックの父母によるトークショーの開催で、子育てに関する経験談などをお話いただくことで、子どもの健全な育成や保護者としての役割を考える機会となった。令和3年度からは、図書館と連携して、子育て支援センター、保育所の全所で「子どもの権利」に関連する書籍の展示を行っている。		○	○	○	○		
		評価	絵画コンテストについては、応募作品数の増加が見られることから、一定の周知が図られているものと考えられる。 (応募作品数：令和2年度71点、令和3年度197点、令和4年度186点 ※例年、全応募作品の作品展を百年記念ホールにて開催) 権利の主体である子どもたちに向けて、普及・啓発に繋がるような様々な取組を進めてきたが、今後も効果的な取組方法について検討が必要である。		達成度合					
					A	A	A	A		

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

51	児童虐待予防事業	事業内容	乳幼児健診時等に、母親と育児相談等を行う中で子育て等に対する不安を軽減し、虐待の予防や未然防止に取り組みます。	①こども課 ②保健課 ③保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	【こども課】保育所や幼稚園、小・中学校、医療機関等との連携を密にし児童虐待の早期発見に努めるとともに、子育てに関する悩みや虐待に関する相談窓口として、「子ども家庭総合支援拠点」を令和4年12月こども課に設置し、総合的な相談窓口として、町広報紙及びホームページで周知している。また、例年11月の児童虐待防止推進月間には、こども課及び窓口職員による、オレンジリボン運動の取組を行っている。令和2年度からは、児童虐待防止と学校・教職員の虐待通告の責務について盛り込んだ内容のチラシを作成し、町内の各小・中学校を通じて全児童に配布している。 【保健課・保健福祉課】保健事業において、保護者の養育を支援することが特に必要と認められる家庭に対し、養育に関する相談、指導、助言などの支援を行っている。また、保健、保育、教育など、関係部局が連携し情報の共有を図るとともに、各事業において、子育て家庭の健康相談、子育て相談等に努めている。		①◎	○	①◎	○	
		評価	【こども課】今後も関係機関との連携を図り、児童虐待の早期発見、早期対応、防止に努める。広報紙・チラシ配布による啓発やオレンジリボン運動に取り組むことにより、「子どもの虐待のない社会の実現」に向けて意識の醸成に努めていく。 【保健課・保健福祉課】令和4年度は、要保護児童対策地域協議会において、支援が必要となった1世帯に対し1回養育支援訪問している。また、保護者支援が必要な家庭2世帯に対し6回子育て支援訪問を実施している。令和5年度10月中旬時点では養育支援訪問はないが、2世帯6回子育て支援訪問している。問題が起きる前から関わり信頼関係を築くことで、生活環境の変化により困ったことが生じたときに保健師に相談できる関係ができていく。		A	A	A	A	
52	要保護児童対策地域協議会	事業内容	児童虐待の早期対応、再発防止を図るため、要保護児童対策地域協議会における情報共有の徹底や児童相談所をはじめとする関係機関との連携を強化し、要保護児童、要支援児童及び特定妊婦への適切な支援に取り組む。また、要保護児童に関する専門的な研修の機会を捉え、適切な対応の習得に努めます。	こども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	平成18年5月に要保護児童対策地域協議会を設置。協議会に置く代表者会議は、児童福祉、保健医療、教育、警察、人権擁護関係の組織から成る関係機関で構成され、平成28年度より年1回開催している。また、ケース検討会では、令和2年度4件（5回開催）、令和3年度1件（1回開催）、令和4年度3件（3回開催）のケースについて、情報共有や効果的な支援を行うための個別の協議を行った。		○	○	○	○	
		評価	児童虐待の件数は全国的には増加していると言われているが、本町に関わる件数については、現状、横ばい傾向が見られる。今後もケースの状況に応じて、関係機関との連携を深め、情報共有を密にすることで、要保護児童等に対する適切な対応・支援に努めていく。		A	A	A	A	
53	民生委員・児童委員活動事業【再掲 No30】	事業内容	地域の身近な相談相手として、子どもたちの健全育成に取り組むとともに、関係機関と連携の上、児童虐待の早期発見や予防に努めます。	福祉課	達成状況				
		進捗状況	民生委員児童委員による「幕別町教育の日」（毎月19日）の学校訪問や、運動会や発表会などの学校行事への出席を行っている。夏休み期間中に主任児童委員の学校訪問を実施するとともに、児童部会だより（年4回発行）を配布している。また、地区担当民生委員の紹介文書を町内会の班に回覧したほか、町内会行事に民生委員として出席することで、地域住民への民生委員活動の周知を図っている。		○	○	○	○	
		評価	新型コロナウイルス感染症による活動の制限もなくなり、児童委員と学校が情報交換を行うことができていく。また、町内会行事も再開し、民生委員児童委員として関わりを持つことで、地域住民からの認知度も上がり、学校を含め地域が一体となった子どもたちの見守り活動を行えた。		B	B	B	B	

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
 ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

○ひとり親家庭の自立支援の推進

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
54	ひとり親家庭等支援体制の充実	事業内容	ひとり親家庭の相談、児童扶養手当や社会的自立に必要な情報の提供に取り組みます。 また、保育所の入所など生活実態に応じた支援に努めます。	子ども課 保健福祉課	達成状況					
					○	○	○	○		
		達成度合								
					A	A	A	A		
		進捗状況	離婚届出時や相談受付の際には、ひとり親対象の各種制度（児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金、遺児援護金等）の説明を随時行っており、町広報紙や町ホームページを活用した、定期的な制度周知を図っている。さらに、保育の必要性の認定の際には、優先的に入所できるよう配慮に努めている。							
		評価	児童扶養手当の受給者数は、令和2年度293人（うち父子24人）、令和3年度277人（うち父子29人）、令和4年度248人（うち父子18人）と一定程度の方が受給している。今後も、ひとり親家庭の相談や支援について、広報紙や町ホームページなどを通じ、情報提供に努めていく。							
55	ひとり親家庭等医療費助成制度	事業内容	ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、ひとり親家庭等の医療費の一部助成に取り組むとともに、国、道等の動向を踏まえ、効果的な支援を検討します。	住民課	達成状況					拡大
					○	○	○	◎		
		達成度合								
					A	A	A	A		
		進捗状況	3歳未満の方および3歳以上の方で住民税非課税世帯に属する方の医療費の自己負担額（入院時の食事標準負担額を除く）の助成と、3歳以上の方で住民税課税世帯に属する方は医療費の1割相当額が自己負担となるが、月額自己負担上限額を設定している。 ※平成27年10月より子ども医療費助成事業により中学校卒業までの医療費を実質無料化していたが、平成30年8月からはひとり親家庭等医療費助成事業により中学校卒業まで医療費を実質無料化し、令和5年10月からは高校生世代（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）まで拡大した。							
		評価	医療費の一部助成を継続し、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図り、生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成の一助となっている。							

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
 ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

○障がい児施策の充実等

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
56	障がい児保育事業	事業内容	障がい児が、保護者の就労等のため、保育が必要な場合においても、安心して保育を受けられる環境づくりに取り組みます。 また、発達障がいを含む障がい児に対する保育についての研究・研修の実施や適切に支援するための保育士の配置など体制整備に努めます。	子ども課 保健福祉課	達成状況					
					△	△	△	△		
		達成度合								
					B	B	B	B		
		進捗状況	障がい児を受け入れる場合は必要に応じて、各保育所において職員配置などにより、障がい児保育の環境の改善を図り、受け入れ体制を整えている。また、民営の2カ所の保育所に対しては障がい児受入のために必要な保育士について保育費用を加算している。 研修については、障害児保育専門研修等とおして、適切な保育に努めている。							
		評価	発達障害を含む支援を必要とする児童の保育体制強化のほか、発達支援センターと連携した保護者を含めた各種研修会の実施など、発達障害等に対する認識を高めることに効果をあげている。							

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

57	健康診査事業【再掲 No34】	事業内容	妊婦や乳幼児の健診を通して、異常の早期発見、早期治療、早期療養を促すとともに、各種相談指導を通して、母子の健康確保及び適切な育児支援に取り組みます。 また、母子保健の向上を目的として経済的負担の軽減を図るため、妊婦健診料の一部助成に取り組みます。	保健課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	乳幼児健診は、幕別・札内・忠類の3地区で実施し、地区の出生数に合わせて、健診の方法を工夫している。出生数の少ない忠類地域では、乳幼児健診（3・4か月児、7・8か月児、1歳半児、3歳児）を集約し年4回実施し、個別指導や育児支援を実施している。幕別地区は3・4か月児と7・8か月児、1歳半児と3歳児を一緒に行っており、隔月実施している。札内は各健診を毎月1回ずつ実施している。新型コロナウイルス感染症の影響で、離乳食の試食を中断していたが、令和5年度から再開し、よりわかりやすく離乳食について理解してもらうことができている。		○	○	○	○	
		評価	令和4年度の健診受診率は3・4か月児健診100%、7・8か月児健診99.3%、1歳半児健診98.8%、3歳児健診98.7%であった。未受診者には、電話連絡や家庭訪問、保育所訪問等で状況を把握し支援を行っている。療育が必要な場合に早期療育につなげることを目的として、平成30年度から1歳6か月健診においても、発達支援センターの保育士もスタッフとして従事し、療育の必要性や見通しについて判断している。		達成度合				
					A	A	A	A	
58	心身障がい児通所交通費助成制度	事業内容	言語障がいや心身に障がい有する子どもの機能回復訓練や治療等を目的とした施設への通所に要する交通費の一部助成に取り組みます。	福祉課	達成状況				
		進捗状況	言語障がいや心身に障がい有する児童及びその介護者が、障がいに対する機能回復の訓練や治療を行う施設、または障がいを補うために必要な知識技能を習得する施設への通所に要した交通費を助成している。		○	○	○	○	
		評価	通所に要する交通費を助成することにより、その費用負担の軽減と福祉の増進を図っている。		達成度合				
					A	A	A	A	
59	身体障がい児補装具給付事業	事業内容	障がい児を養育する家庭等の経済的負担の軽減を図るため、身体障がい者手帳の交付を受けている子どもに対し、必要な補装具の購入や修理に要する費用の一部支給に取り組みます。	福祉課	達成状況				
		進捗状況	身体障害者手帳に記載されている障がいに応じた補装具費（購入・修理）の支給申請に基づき、支給の要否を決定し補装具費を支給している。利用者の負担額は原則1割だが、町民税非課税世帯は利用者負担が無料となる。 また、町独自事業として、平成24年4月から身体障害者手帳をもっていない軽度難聴児の保護者に対し、補聴器購入の一部助成を行っている。		○	○	○	○	
		評価	身体の不具合や思っているように動かすことのできないような障がいのある部分を補って、日常生活をより快適に過ごせるように支援している。		達成度合				
					A	A	A	A	
60	地域生活支援事業	事業内容	障がい有する子どもが、その有する能力や適性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう活動の場を提供し、日常的な訓練を行うなどの支援に取り組みます。	福祉課	達成状況				
		進捗状況	移動支援事業（屋外での移動が困難な障がい児について、外出のための支援を行う）、日中一時支援事業（障がい児の家族の就労及び日常的に介護している家族の一時的な休息を目的に、障がい児の日中における活動の場を確保する）、日常生活用具給付事業（自立支援用具等の日常生活用具を給付又は貸与すること等により、日常生活の便宜を図る）等を行っている。		○	○	○	○	
		評価	利用者が必要に応じたサービスを受けることにより、日常生活の福祉の増進の一助となっている。		達成度合				
					A	A	A	A	

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

61	発達支援センターの機能充実	事業内容	障がい児及び発達に支援の必要な児童に対し、専門的な相談、指導、療育等を行い、その心身の発達を総合的に支援するため、障がい等の早期発見、児童とその保護者に対する指導等に取り組みます。 また、幼稚園や保育所、学校など関係機関との連携を図り、集団生活における指導の対応や相談に応じるなど充実した事業に努めます。	子ども課	達成状況					拡大
		進捗状況	乳幼児健診への参加や発達相談の実施により、発達に困り感のある児童に対し早期に対応し療育につないでいる。療育については、令和5年度から事業化し療育の量を拡大した。また、心理士が2名体制になり増加する発達検査に対応するとともに学齢期の発達相談の充実、保護者支援の充実を図っている。心理・発達検査を実施して療育対象外になった児童に対しても、ニーズに応じて療法士の評価とあわせた発達相談を実施するなど柔軟に対応している。 また、忠類・駒島地区の療育の量の確保と連続的な支援を行えるよう、忠類分室の開設に向けて準備を進めている。（令和6年4月開設予定）		◎	◎	○	◎		
		評価	発達相談及び巡回相談を経て心理・発達検査の実施に至るケースが増えているとともに、療法士の評価やペアレントトレーニングにつなげ、保護者のニーズにあった支援に繋がっている。特に令和3年度から実施しているペアレントトレーニングは利用者が増加しており、更なる支援の充実のためグループでの実施も検討している。		達成度合					
					A	A	A	A		
62	言語通級指導教室	事業内容	通常の学級に所属しながら、ことばの発達に遅れが認められる等の小学生の心身の健全な発達を支援するため、札内南小学校に言語通級指導教室において個別指導を行い、障がい等の改善・克服を図ります。	学校教育課	達成状況					
		進捗状況	言語障がいを改善あるいは克服するための指導・援助及び話すことの意欲を高める指導、教育相談等を行っている。 （通級児童数）令和5年度 13人、令和4年度 14人、令和3年度 17人		○	○	○	○		
		評価	通級する児童が一定数で推移しているため、今後も継続的に支援を行う必要がある。		達成度合					
					A	A	A	A		
63	サポートファイル活用推進事業	事業内容	支援や配慮を必要とする子ども一人ひとりが、ライフステージに応じた切れ目のない支援を受けられるよう、保護者がサポートファイル「まっく・りんぐ」に情報を記入・保管し、各関係機関との連携を図ります。また、個別支援計画とともに活用することで、更なる支援の充実につなげます。	子ども課	達成状況					
		進捗状況	統一様式による個別支援計画の作成から3年が経過したことから令和4年度末に意見調査を実施し、結果をもとに関係機関に対して個別支援計画作成について説明会を実施した。また、サポートファイルの活用推進のため、関係機関への協力依頼及び保護者への活用方法の周知もしている。人事異動もあることから、令和5年度から支援担当者に対する説明会を定期的に開催することにした。		○	○	○	○		
		評価	サポートファイルについては、小中学校において支援担当職員以外の認知度が低く十分な活用には至っていなかったことから、支援担当職員を中心に周知が広がるように説明会を実施した。今後も定期的に周知できる場を設け有効活用できるように改善を図っていく。		達成度合					
					B	B	B	A		
64	自立支援協議会子ども支援部会の充実	事業内容	乳幼児期から成人期までのライフステージに携わる保健・医療・福祉・教育・就労の関係者で、発達支援に関する課題やその解決方法を検討し、情報共有、支援方法の共有化など連携強化を図ります。	福祉課	達成状況					
		進捗状況	定例会を2回開催し、日頃から子どもの支援に携わる様々な機関が集まり、学習会やグループワークを行い、情報共有や顔繋ぎの場となったほか、関係機関からの要望によるケース会議を2回（令和5年10月末時点）開催した。		○	○	○	○		
		評価	定期的な定例会の開催により関係機関の連携体制が整い、個々のケース会議を随時開催することで、これまで以上に情報共有、支援方向の共有化が図られている。		達成度合					
					B	A	A	A		

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

○障がいの原因となる疾病及び事故の予防、早期発見ならびに治療の推進

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
 ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
65	健康相談の充実	事業内容	身近なところで効果的な健康相談が受けられるよう、相談機会の拡充と内容の充実を図り、心身の健康についての正しい知識を普及するとともに、疾病の予防・早期発見、健康の保持・増進に努めます。	保健課 保健福祉課	達成状況					
		進捗状況	幕別、札内、忠類の3カ所で、平日は毎日健康相談を実施し、気軽に相談できる体制を整えた。母子の相談は、令和4年度は811件、令和5年度10月中旬現在で463件である。		○	○	○	○		
		評価	相談内容は、離婚、生活面、経済面、養育など多様化しており、保健師だけでは対応できない相談が増えている。福祉課、こども課、医療機関、児童相談所等と連携しながら支援を深めている。		達成度合					
				A	A	A	A			
66	保育所等巡回相談	事業内容	集団生活場面における発達の遅れの「気づき」を促し、早期に相談に繋がるよう支援するとともに、支援者に対しては、集団適応のための専門的かつ具体的な助言・指導等を行います。	こども課	達成状況					
		進捗状況	保育所・幼稚園・学校からの依頼により、集団生活において対象児に対する関わり方に困っているケース、学習面、社会性、情緒面について気がかりなケースについて、訪問し実際の現場を見た上で、集団の中で困り感のある児童についての情報交換を行い、集団での支援について具体的なアドバイスを行った。数ヶ月後に実践後の評価を行うとともにその後の支援の方向性を検討していく中で必要に応じて発達相談にもつながっている。令和5年度より事業化したことにより保育所等訪問支援事業の実施に向けて準備を進めている。		○	○	○	○		
		評価	第3者的立場で集団活動、支援のあり方の方向性を伝えることで、担当者が関わり方や環境構成などについて見直す機会となっている。また、発達相談を実施している児童について集団での様子を確認でき、訪問から発達検査・療育につながるケースも増加しており、所属との連携強化につながっている。		達成度合					
				A	A	A	A			

○発達障がいのある子どもへの、一人ひとりの希望に応じた適切な教育上必要な支援

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
 ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
67	特別支援教育の推進	事業内容	障がいや発達の遅れのある子のもつ能力や特性を最大限に伸ばし、それぞれの障がい及び教育的ニーズに応じた適切な教育環境の整備と支援体制を構築します。	学校教育課	達成状況					
		進捗状況	保護者の求めにより、一人ひとりの状態に応じ、学校・医療・福祉関係機関等の委員による適切な就学指導を行うため教育支援委員会を設置し、よりきめ細かい指導・支援を行える体制としている。		○	○	○	○		
		評価	障がいの重度・重複化や、できる限り身近な教育機関で教育を受けさせたいという保護者の希望がある一方、将来の自立につながるよう、専門的な教育を望む声があるなど、保護者のニーズの多様化などに適切に対応するため、保健・医療・福祉等の関係機関と連携し、早期から教育相談・支援や就学後の一貫した相談支援体制のより充実を図る。		達成度合					
				A	A	A	A			

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

68	放課後等デイサービスの充実	事業内容	学校通学中の障がい児に対して、放課後や夏休みなどの長期期間において、生活能力向上のための訓練などを継続的に提供することにより、学校教育と相まって障がい児の自立を促進するとともに、放課後などの居場所を確保します。	福祉課	達成状況					
		進捗状況	障がい児通所事業（放課後等デイサービス）として支援の必要な児童の申請に対して必要な支給決定を行っている。年々利用者が増加している。		○	○	○	○		
		評価	本人が混乱しないようサービスの一貫性に配慮した日常生活動作の指導、集団生活への適応訓練等の支援を受けることができる。		A	A	A	A		
69	特別支援教育支援員	事業内容	町立幼稚園及び小中学校に在籍する発達障がいを含む障がいのある子どもたちを適切に支援するため、特別支援教育支援員を配置し、学校等における日常生活上の介助や学習支援など子どもの集団生活の支援に取り組みます。	学校教育課	達成状況					
		進捗状況	平成20年度から特別支援教育支援員を学校の指導体制に応じ配置し、少人数指導やティーム・ティーチングなど、個別の支援を継続的に 行っている。 ○配置人数 令和5年度：小学校36人、中学校7人、令和4年度：小学校36人、中学校7人、令和3年度：小学校37人、中学校7人		○	○	○	○		
		評価	年々増加する要支援児に対応するため、学校の実情に配慮しつつ特別支援教育支援員を確保しているが、今後も、研修等により資質能力向上を図る必要がある。		B	B	B	B		

基本目標5「仕事と家庭生活との両立の推進」

○仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し

- ・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△
- ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
70	ゆとり時間推進啓発事業	事業内容	仕事と生活の調和の実現に向けた理解や合意形成を促進するため、啓発や情報の提供を継続して取り組みます。	商工観光課	達成状況					
		進捗状況	有給休暇の取得や労働時間、余暇時間の配分などについて、ポスターの掲示やパンフレットの配布で情報提供を行うとともに、町内業者に対し雇用実態調査時にチラシを同封し啓発を行った。 町ホームページで制度周知を図っている。		○	○	○	○		
		評価	安定した雇用環境の創出のために、引き続き労働時間や生活時間の使い方の啓発が必要である。		A	A	A	A		

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

- ・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△
- ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

○仕事と子育ての両立のための基盤整備

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
71	企業と連携した子育て支援の推進	事業内容	幕別町商工会や事業所との連携等により、町内外で働く子育て世代の男女に育児休業制度や子の看護休暇などの普及を図るとともに、子育て支援の充実に努めます。	①こども課 ②商工観光課	達成状況					
		進捗状況	【こども課】平成22年4月1日から、小学校までの子どものいる世帯を対象に、保護者と同伴での買い物や施設利用などで協賛する店舗等を利用する場合に、様々な特典を受けられる「どさんこ・子育て特典制度」を商工会・事業所・北海道との協力で実施し、子育て世帯を側面から支援している。平成25年4月1日からは、妊娠中の方がいる世帯まで対象を拡大し、母子健康手帳交付時や、転入者などに配布している。 【商工観光課】国が行っている時間単位での休暇取得や休暇を取得した労働者のいる事業所に対する両立支援等助成金などの支援について、町ホームページなどで制度周知を図っている。		○	○	○	○		
		評価	【こども課】子育て支援の一環として、買い物の際の料金の割引などの特典を設けることは、子どもの権利に関する条例にある子どもの心身の健やかな育ちを社会全体で支援するまちの実現や、北海道子どもの未来づくり条例の理念の実現を図る上で重要と考え、今後も継続が必要である。 【商工観光課】国が行う子育て支援制度について、町として、ポスター掲示やパンフレット配布などによる情報提供の継続が必要である。		①A ②B	①A ②B	①A ②B	①A ②B		
72	仕事と子育ての両立支援事業	事業内容	保育サービス及び放課後児童健全育成事業の充実など、多様な働き方に対応した休日保育等の体制の整備、情報の提供に取り組みます。	こども課 保健福祉課	達成状況					目標を下回る
		進捗状況	常設保育所では午前7時30分から午後6時30分（札内南保育園・札内青葉保育園は午後7時）まで11時間の保育の実施、小学校6年生までの5つの学童保育所の設置など、仕事と子育てが両立できるよう努めている。へき地保育所においても、平成26年4月1日から通年開所及び保育時間の延長を実施するとともに、学校給食センターからの給食を配達するなどサービスの拡充に努めている。		△	△	△	△		
		評価	保護者の就労時間、就労形態の多様化による保育に関する保護者のニーズに対応できる体制が必要となってきた。		C	C	C	C		

基本目標6「子どもの貧困対策の推進」

○相談・生活支援の充実

- ・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△
- ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
73	子育て世代包括支援センター事業【再掲 No31】	事業内容	母子保健及び育児に関する総合的な相談支援や妊産婦等の身体的及び精神的健康状態や育児、生活の支援状況を把握し、手厚い支援を要する妊産婦等の支援プランの策定及び評価を行い、妊娠期から子育て期の切れ目のない支援体制を構築します。	保健課 保健福祉課	達成状況					
		進捗状況	身近な総合相談窓口として、幕別・札内・忠類地区で支援を展開し、広報やホームページ、子育てハンドブック等で周知している。妊娠届出や妊婦訪問、新生児訪問などの機会をとらえ、子育て世代の住民の母子保健を主軸として支援を行っている。令和4年度の対応数は412件、令和5年度は10月中旬時点で254件であった。手厚い支援の必要な対象には支援プランを作成し必要時ケース検討会を実施している。また、定期的に子育て支援センターと子育て支援に関するカンファレンスを実施している。		○	○	○	○		
		評価	妊娠届出、妊婦訪問、新生児訪問は、保健師または助産師が対応し継続的な支援を行っている。また、妊娠中から支援を継続し、家族のサポートがない場合や産後の育児不安がある場合、産後ケア事業などの支援に速やかにつながられている。また、必要時は子育て支援センター、発達支援センター、医療機関等と連携を取りながら、支援する体制を整えている。		A	A	A	A		

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

74	延長保育事業【再掲 No09】	事業内容	保護者の就労時間の多様化に対応するため、保育所の開所時間を超える入所児童の保育については、ニーズにあわせ、保育時間の拡大に取り組みます。	こども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	平成22年度から札内青葉保育所、平成26年度から札内南保育園において、午後6時30分から午後7時までの延長保育を行っている。現時点での利用ニーズは、すでに実施している2カ所の保育所で賄えるものであることから、町立の保育所については利用ニーズが拡大した際に検討する。		○	○	○	○	
		評価	保育時間を延長することによって、安心して就労できる環境づくりの一助となっている。		達成度合				
					B	B	B	B	
75	放課後児童健全育成事業【再掲 No10】	事業内容	就労等のため、保護者が昼間家庭にいない小学生の健全育成に取り組みます。また、施設の拡大や必要なサービスの充実に努めます。	①こども課 ①保健福祉課 ②生涯学習課	達成状況				
		進捗状況	【こども課・保健福祉課】幕別地域1カ所、札内地域4カ所、忠類地域1カ所に学童保育所を設置し、放課後における児童の生活の場を提供している。平成27年度より受入年齢を小学6年生までに拡大している。 【生涯学習課】地域のボランティア講師の協力により、小学4～6年生の長期休業中の居場所づくりと自主学習を支援するため、町内数カ所に「学び隊」を開設。		○	○	○	○	
		評価	【こども課・保健福祉課】特別な支援を必要とする児童の入所が増えているため、これまで以上に小学校などの関係機関との連携が必要。 【生涯学習課】令和4年度については、参加した児童、保護者から好評を得ているが、ボランティア講師の高齢化と人員不足に対して、充実に努める必要がある。 令和2年度 実施日数：0日、参加児童：0名、ボランティア講師：0名（新型コロナウイルス感染拡大予防のため事業中止） 令和3年度 実施日数：6日、参加児童：20名、ボランティア講師：10名（新型コロナウイルス感染拡大予防のため夏季休業の事業中止） 令和4年度 実施日数：12日、参加児童：42名、ボランティア講師：15名（夏季休業、冬季休業ともに実施） 令和5年度 実施日数：6日、参加児童：30名、ボランティア講師：6名（夏季休業に実施したもの。冬季休業も実施予定）		達成度合				
					①B ②C	①B ②C	①B ②A	①B ②A	
76	子育て短期支援事業（ショートステイ）【再掲 No11】	事業内容	保護者が、疾病・疲労など身体上・精神上・環境上の理由により児童の養育が困難となった場合等の居場所の確保に努めます。	こども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	児童養護施設十勝学園（帯広市）において、児童を養育することが一時的に困難な場合や、経済的な理由で緊急一時的に児童を保護することが必要な場合等に、一定期間、養育・保護を行うことにより、児童及び家庭の福祉の向上を図っている。		○	○	○	○	
		評価	利用実績は、令和元年度：延べ72人（実人数4人）117日、令和2年度：延べ41人（実人数6人）68日、令和3年度は利用実績なし、令和4年度：延べ3人（実人数3人）3日となっている。令和2年度末頃からは利用が極端に減っており、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者ニーズが低下したものと推測される。引き続き、支援体制を維持することで、児童及び家庭における福祉の向上へとつなげていく。		達成度合				
					A	A	A	A	

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

77	地域子育て支援拠点事業【再掲 No12】	事業内容	子育て親子の交流の場や子育て等に関する相談や援助、地域の子育て情報、子育てに関する講習会等を実施し、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援します。	子ども課 保健福祉課	達成状況					拡大
		進捗状況	子育て支援センターあおば分室において、親子がふれあえる場、交流や友達づくりの場として施設を開放している。地域の保育所と連携した「あそびの広場」は、コロナ禍により中止していた私立保育所でも再開し、図書館で開催する「あそびの広場」については、前年度より回数を1回増やして実施している。「開放事業」は、満3歳で入園する児童が増加したことにより、2歳児の利用が激減していたことから、2歳児の回数を減らし、0・1歳の回数を増やす等の工夫をして実施している。また、令和5年度からベビーマッサージの導入により0歳児の利用が大幅に増えている。前年度に実施した子育て支援に関する講座が定員数を上回る参加希望があったことから、参加できなかった方のため今年度も同内容で開催することとし、ニーズに合った講座を企画している。更に、これまで「来室相談」と呼び、子育て等に関する相談・援助を行っていたものを「ぬくぬくの日」と呼び名を改め、「開放事業・あそびの広場」の延長線上に位置付けることで、気軽に相談できる場を設け対応している。これらの各種事業の実施を通して、町の社会資源など子育て関連情報の提供も併せて実施している。		○	○	○	◎		
		評価	継続利用する親子が数多くおり、親子の居場所や交流の場、友達作りの場として重要な役割を果たしている。親子遊びや子育て講座による学びの場については、定員に近い利用があることから、ニーズに応じた事業を提供できているものとする。令和5年9月末現在で、あそびの広場の利用状況は、前年度比で幕別地区で約50%、札内地区で約80%の増、開放事業についても約30%の増が見られた。相談支援事業についても、約60%の増があり、あそびの日の延長線上に位置付けたことで相談への敷居が低くなったことによる増加だと考えられる。		達成度合					
A	A	B	A							
78	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）【再掲 No16】	事業内容	育児の援助を行いたい者（まかせて会員）と育児の援助を受けたい者（おねがい会員）が会員登録し、会員相互の子育て援助活動の利用促進と子育て支援の充実に取り組みます。	子ども課 保健福祉課	達成状況					
		進捗状況	平成28年4月より開設し、まかせて会員養成講習会を例年1回開催してきたが、担い手増へと繋げるための取組として、令和5年度は夜間開催を実施し、参加しやすい環境づくりに努めてきた。令和2年9月より、援助活動内容に習い事の送迎に加え、多子世帯の家事支援、多胎児の育児支援を新設した。令和4年度は、児童の年齢を「小学生」から「中学生」までに引き上げ、家事支援、育児支援の要件緩和を行ったことにより、事業拡大へと繋がった。更にファミサポ事業の一環として、子育てサポーター（託児ボランティア）を立ち上げ、まかせて会員への移行と確保に向けた取組を進めている。		◎	○	◎	○		
		評価	開設以降、会員数は年々若干の増加傾向があり、令和2年度123人、令和3年度127人、令和4年度129人となっている。利用者延べ人数においても、令和2年度：送迎299人/預かり241人、令和3年度：送迎376人/預かり265人/家事支援2人、令和4年度：送迎860人/預かり41人/家事支援25人/育児支援13人と増加傾向が見られ、日曜祝日の預かりなど保育所では賅えない保護者のニーズにも対応している。また、保健師との連携により支援が必要な保護者の利用が増えていることなどから、地域における子育て支援の重要性を感じる一方で、まかせて会員不足に苦慮している状況があるため、子育てサポーターからの担い手の確保（まかせて会員増加）に期待している。令和5年度ファミサポ講習会においては、新規受講者は5名、内2名が受講修了予定となっており、例年比で若干少ない状況である。講習会の夜間開催については、少人数の参加に留まっている。		達成度合					
A	A	A	A							
79	利用者支援事業【再掲 No20】	事業内容	地域の子ども子育て支援事業が円滑に利用できるよう子育てに関する各般の問題に対し、相談や助言を行うとともに関係機関との連携についても支援し、子どもとその保護者に必要な支援に努めます。	子ども課 保健福祉課	達成状況					拡大
		進捗状況	子育て支援センターあおば分室を中心に、子育ての不安や悩みに対する相談や助言及び社会資源の提案を行い、保護者が安心して町のサービスを利用できるよう支援している。また、継続的な支援を見据え、保護者毎に「利用計画書」を作成することで、社会資源の利用状況や困りごとがないかの確認を行える仕組みをつくり、職員間においても共通認識の下で同じ目標に向かったサポートへと繋げることができている。		○	○	◎	◎		
		評価	年間相談件数は、令和元年度236件、令和2年度266件、令和3年度は277件、令和4年度は458件と急激な増加が見られる。令和4年度から実施した「利用計画書」の作成を通して、幅広い町の社会資源の提案により、利用者の選択肢が増え、ニーズに手厚く応えることができている。また、令和5年度は、敷居の低い相談支援となるよう、これまで「来室相談」と呼び、子育て等に関する相談・援助を行っていたものを「ぬくぬくの日」と呼び名を改め、「開放事業・あそびの広場」の延長線上に位置付けることで、気軽に相談できる場を設け対応している。		達成度合					
A	A	A	A							

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

80	児童虐待予防事業【再掲 No51】	事業内容	乳幼児健診時等に、母親と育児相談等を行う中で子育て等に対する不安を軽減し、虐待の予防や未然防止に取り組みます。	①こども課 ②保健課 ②保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	【こども課】保育所や幼稚園、小・中学校、医療機関等との連携を密にし児童虐待の早期発見に努めるとともに、子育てに関する悩みや虐待に関する相談窓口として、「子ども家庭総合支援拠点」を令和4年12月こども課に設置し、総合的な相談窓口として、町広報紙及びホームページで周知している。また、例年11月の児童虐待防止推進月間には、こども課及び窓口職員による、オレンジリボン運動の取組を行っている。令和2年度からは、児童虐待防止と学校・教職員の虐待通告の責務について盛り込んだ内容のチラシを作成し、町内の各小・中学校を通じて全児童に配布している。 【保健課・保健福祉課】保健事業において、保護者の養育を支援することが特に必要と認められる家庭に対し、養育に関する相談、指導、助言などの支援を行っている。また、保健、保育、教育など、関係部局が連携し情報の共有を図るとともに、各事業において、子育て家庭の健康相談、子育て相談等に努めている。		①◎ ②◎	○	①◎ ②◎	○	
		評価	【こども課】今後も関係機関との連携を図り、児童虐待の早期発見、早期対応、防止に努める。広報紙・チラシ配布による啓発やオレンジリボン運動に取り組むことにより、「子どもの虐待のない社会の実現」に向けて意識の醸成に努めていく。 【保健課・保健福祉課】令和4年度は、要保護児童対策地域協議会において、支援が必要となった1世帯に対し1回養育支援訪問している。また、保護者支援が必要な家庭2世帯に対し6回子育て支援訪問を実施している。令和5年度10月中旬時点では養育支援訪問はないが、2世帯6回子育て支援訪問している。問題が起きる前から関わり信頼関係を築くことで、生活環境の変化により困ったことが生じたときに保健師に相談できる関係ができていく。		A	A	A	A	
81	ひとり親家庭等支援体制の充実【再掲 No54】	事業内容	ひとり親家庭の相談、児童扶養手当や社会的自立に必要な情報の提供に取り組めます。 また、保育所の入所など生活実態に応じた支援に努めます。	こども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	離婚届出時や相談受付の際には、ひとり親対象の各種制度（児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金、遺児保護金等）の説明を随時行っており、町広報紙や町ホームページを活用した、定期的な制度周知を図っている。さらに、保育の必要性の認定の際には、優先的に入所できるよう配慮に努めている。		○	○	○	○	
		評価	児童扶養手当の受給者数は、令和2年度293人（うち父子24人）、令和3年度277人（うち父子29人）、令和4年度248人（うち父子18人）と一定程度の方が受給している。今後も、ひとり親家庭の相談や支援について、広報紙や町ホームページなどを通じ、情報提供に努めていく。		A	A	A	A	

○子どもの育ちと学びの支援の充実

- ・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△
- ・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考
82	教育相談体制の充実	事業内容	いじめ、不登校、虐待などに適切に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、学校・家庭・地域の連携の上、相談体制の充実を図ります。	学校教育課	達成状況					
		進捗状況	北海道が任用しているスクールカウンセラーを配置し、平成29年度からは2名体制、令和3年度から3名体制で児童生徒、保護者へのカウンセリングや教員等との相談を行っている。また、児童生徒を取り巻く環境の問題が複雑に絡み合っている状況を踏まえ、平成24年度からスクールソーシャルワーカーを配置し、効果的に支援できる体制整備の強化に努めるなど、まっく・ざ・まっくにおける教育相談体制の充実を図っている。		○	○	○	○		
		評価	いじめや不登校等の解決に向け、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの継続した配置が必要である。		B	B	B	B		

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

83	小中学校教育の充実	事業内容	学習指導要領に基づき、確かな力、豊かな心、健やかな体のバランスが取れた生きる力を育む教育の推進に取り組みます。	学校教育課	達成状況																	
		<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成度合</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td></td> </tr> </table>					○	○	○	○		達成度合					B	B	B	B		
		○	○		○	○																
達成度合																						
B	B	B	B																			
進捗状況	特色ある学校づくりの推進については、特色ある教育活動支援事業、生きる力を育む創意ある教育活動支援事業などにより各学校の支援を行っている。																					
評価	地域住民や保護者に対する制度理解を深めるため各学校だよりや学園での広報資料などを町ホームページで活用しており、更に開かれた学校運営の推進を図っていく必要がある。																					
84	「学び隊」の開設	事業内容	家庭教育に関する学習機会を充実し、家庭内の教育力の向上を目指します。	生涯学習課	達成状況																	
		<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成度合</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C</td> <td>A</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table>					○	○	○	○		達成度合					C	C	A	A		
		○	○		○	○																
達成度合																						
C	C	A	A																			
進捗状況	地域のボランティア講師の協力により、小学4～6年生の長期休業中の居場所づくりと自主学習を支援するため、町内数か所に「学び隊」を開設。																					
評価	令和4年度については、参加した児童、保護者から好評を得ているが、ボランティア講師の高齢化と人員不足に対して、充実を図る必要がある。 令和2年度 実施日数：0日、参加児童：0名、ボランティア講師：0名（新型コロナウイルス感染拡大予防のため事業中止） 令和3年度 実施日数：6日、参加児童：20名、ボランティア講師：10名（新型コロナウイルス感染拡大予防のため夏季休業の事業中止） 令和4年度 実施日数：12日、参加児童：42名、ボランティア講師：15名（夏季休業、冬季休業ともに実施済） 令和5年度 実施日数：6日、参加児童：30名、ボランティア講師：6名（夏季休業に実施したもの。冬季休業も実施予定）																					
85	民生委員・児童委員活動事業【再掲 No30】	事業内容	地域の身近な相談相手として、子どもたちの健全育成に取り組むとともに、関係機関と連携の上、児童虐待の早期発見や予防に努めます。	福祉課	達成状況																	
		<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成度合</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td></td> </tr> </table>					○	○	○	○		達成度合					B	B	B	B		
		○	○		○	○																
達成度合																						
B	B	B	B																			
進捗状況	民生委員児童委員による「幕別町教育の日」（毎月19日）の学校訪問や、運動会や発表会などの学校行事への出席を行っている。夏休み期間中に主任児童委員の学校訪問を実施するとともに、児童部会だより（年4回発行）を配布している。また、地区担当民生委員の紹介文書を町内会の班に回覧したほか、町内会行事に民生委員として出席することで、地域住民への民生委員活動の周知を図っている。																					
評価	新型コロナウイルス感染症による活動の制限もなくなり、児童委員と学校が情報交換を行うことができている。また、町内会行事も再開し、民生委員児童委員として関わりを持つことで、地域住民からの認知度も上がり、学校を含め地域が一体となった子どもたちの見守り活動を行えた。																					

・達成状況 実施：○ 拡大：◎ 検討：△  
・達成度合 目標どおり：A 概ね目標どおり：B 目標を下回る：C

○経済的支援

No	事業名	項目	事業内容／取組み内容	担当課	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	備考												
86	幼児教育・保育無償化	事業内容	3歳以上児と住民税非課税世帯の0～2歳児について、幼稚園、保育所、認定こども園の保育料を無償とします。幼稚園・認定こども園の預かり保育や認可外保育施設などの利用料について、一定の要件を満たしている場合は利用料を無償とします。	こども課 保健福祉課 学校教育課	達成状況																	
		<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成度合</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table>					○	○	○	○		達成度合					A	A	A	A		
		○	○		○	○																
達成度合																						
A	A	A	A																			
進捗状況	【こども課・保健福祉課】平成31年10月から3歳以上児と住民税非課税世帯の0～2歳児に係る幼稚園、保育所、認定こども園の保育料を、国基準により無償としている。 【学校教育課】令和元年10月から幼児教育無償化により入園料・保育料が無償化されたことにより、預かり保育（延長保育）においても一定の要件を満たしている場合は無償化の対応を行っている。給食費の主食費助成事業により保護者の負担軽減を図っている。																					
評価	【こども課・保健福祉課】兄弟姉妹との同時入所が増加するなど、保育ニーズがより一層高まっている。 【学校教育課】入園料・保育料が無償化及び給食費の主食費助成事業により保護者の負担軽減が図られている。																					

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

87	多子世帯の保育料軽減事業	事業内容	3歳未満児の保育料について、一定所得以下の多子世帯における第二子以降に係るものを無償化して、多子世帯の経済的負担の軽減に努めます。	子ども課 保健福祉課	達成状況				
					○	○	○	○	
		達成度合							
		進捗状況	一定所得以下の多子世帯における第二子以降の保育料について、無償としている。						
		評価	無償化の影響と同様に、兄弟姉妹との同時入所が増加するなど、保育ニーズがより一層高まっている。						
88	幼児教育支援事業【再掲 No06】	事業内容	令和元年10月から幼児教育無償化により入園料・保育料が無償化されたことにより、幼稚園教育の振興に資することを目的に、私立幼稚園に在籍する幼児の保護者に対し、経済的負担の軽減の方策を検討していきます。	学校教育課	達成状況				
					○	○	○	○	
		達成度合							
		進捗状況	私立幼稚園（幕別幼稚園）に通所する児童の保育料及び預かり保育に係る保育料について、国基準による給付を行っている。（参照：No.7 施設等利用給付事業 担当 子ども課）						
		評価	利用実績は、令和3年度113人、預かり保育49人、令和4年度79人、預かり保育23人、令和5年度20人、預かり保育68人の利用となっており、保護者の経済的負担の軽減につながっている。						
89	小児保健医療の充実・確保【再掲 No46】	事業内容	小児保健医療の充実・確保は、安心して子どもを生み育てる基盤となることから、医療機関等との連携や情報の提供等に取り組みます。 児童養育家庭等の経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費助成制度を継続して取り組みます。	保健課 住民課 保健福祉課	達成状況				
					○	○	○	◎	
		達成度合							
		進捗状況	【保健課・保健福祉課】広報やホームページ等で救急医療機関等の情報提供を行っている。 【住民課】子ども医療費助成事業の対象を令和5年10月から高校生世代（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）までに拡大し、小児医療の確保を図っている。						
		評価	【保健課・保健福祉課】今後も必要な情報が得られるよう、情報提供を行う。 【住民課】子ども医療費助成事業の継続により、安心して子どもを生み育てる環境の整備が図られている。						
90	子ども医療費助成事業【再掲 No47】	事業内容	児童養育家庭等の経済的負担の軽減を図るため、子どもの医療費の一部助成に取り組むとともに、国、道等の動向を踏まえ、効果的な支援を検討します。	住民課	達成状況				
					○	○	○	◎	
		達成度合							
		進捗状況	平成23年10月より対象を小学校卒業（住民税課税・非課税ともに助成対象だが、所得制限あり。）まで拡大し、助成内容も入院に係る食事標準負担額を除き、入院・通院ともに医療費の実質無料化を実施した。平成27年10月からは対象を中学校卒業まで拡大するとともに、所得制限の撤廃を実施した。さらに、令和5年10月から対象を高校生世代（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）までに拡大した。						
		評価	子ども医療費助成事業の継続により、安心して子どもを生み育てる環境の整備が図られている。						

拡大

拡大

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

91	ひとり親家庭等就業支援事業	事業内容	母子家庭等就業・自立支援センターと連携のもと、母子家庭等の社会的自立支援や仕事に関する相談、就労先の情報提供など、就業全般について支援します。	子ども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	ひとり親家庭のニーズ把握や情報共有等を目的とした町職員の合同会議により、よりニーズに合った具体的支援について協議を行っている。また、就業自立支援に関する巡回相談会の実施等を通して、ひとり親家庭に対する相談・支援の窓口の確保に努めている。児童扶養手当現況届に本事業の案内文を同封し、母子・父子家庭の就業・自立支援について周知を図っている。		○	○	○	○	
		評価	ひとり親家庭の父母が、安心して子育てと仕事を両立できるよう、今後も支援を継続していく。		達成度合				
					A	A	A	A	
92	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	事業内容	母子、父子、寡婦の経済的自立と児童の福祉向上のため、北海道が実施しており、就学資金や就学支度資金等の周知及び貸付け申請を支援します。	子ども課 保健福祉課	達成状況				
		進捗状況	母子家庭、父子家庭、寡婦の方に対して、修学資金、就学支援資金など、各種資金の貸付を無利子又は低金利で行っている。		○	○	○	○	
		評価	ひとり親家庭等の経済的自立を支援し、次代を担う子どもたちの福祉の増進の一助を担っている。引き続き北海道への橋渡しを行っている。		達成度合				
					A	A	A	A	
93	ひとり親家庭等医療費助成制度【再掲 No55】	事業内容	ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、ひとり親家庭等の医療費の一部助成に取り組むとともに、国、道等の動向を踏まえ、効果的な支援を検討します。	住民課	達成状況				
		進捗状況	3歳未満の方および3歳以上の方で住民税非課税世帯に属する方の医療費の自己負担額（入院時の食事標準負担額を除く）の助成と、3歳以上の方で住民税課税世帯に属する方は医療費の1割相当額が自己負担となるが、月額自己負担上限額を設定している。 ※平成27年10月より子ども医療費助成事業により中学校卒業までの医療費を実質無料化していたが、平成30年8月からはひとり親家庭等医療費助成事業により中学校卒業まで医療費を実質無料化し、令和5年10月からは高校生世代（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）まで拡大した。		○	○	○	◎	
		評価	医療費の一部助成を継続し、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図り、生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成の一助となっている。		達成度合				
					A	A	A	A	
94	心身障がい児通所交通費助成制度【再掲 No58】	事業内容	言語障がいや心身に障がい有する子どもの機能回復訓練や治療等を目的とした施設への通所に要する交通費の一部助成に取り組みます。	福祉課	達成状況				
		進捗状況	言語障がいや心身に障がい有する児童及びその介護者が、障がいに対する機能回復の訓練や治療を行う施設、または障がいを補うために必要な知識技能を習得する施設への通所に要した交通費を助成している。		○	○	○	○	
		評価	通所に要する交通費を助成することにより、その費用負担の軽減と福祉の増進を図っている。		達成度合				
					A	A	A	A	

拡大

第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート（令和2年度～令和6年度）

95	身体障がい児補装具給付事業 【再掲 No59】	事業内容	障がい児を養育する家庭等の経済的負担の軽減を図るため、身体障がい者手帳の交付を受けている子どもに対し、必要な補装具の購入や修理に要する費用の一部支給に取り組みます。	福祉課	達成状況				
		進捗状況	身体障害者手帳に記載されている障がいに応じた補装具費（購入・修理）の支給申請に基づき、支給の可否を決定し補装具費を支給している。利用者の負担額は原則1割だが、町民税非課税世帯は利用者負担が無料となる。また、町独自事業として、平成24年4月から身体障害者手帳をもっていない軽度難聴児の保護者に対し、補聴器購入の一部助成を行っている。		○	○	○	○	
		評価	身体の失われた部分や思うように動かすことのできないような障がいのある部分を補って、日常生活をより快適に過ごせるように支援している。		達成度合				
					A	A	A	A	
96	就学援助	事業内容	小・中学生のお子さんがある世帯を対象に、義務教育の機会均等を図るため、学用品や給食費を援助します。	学校教育課	達成状況				
		進捗状況	経済的な理由により学用品や給食費の支払いが困難な世帯は一定数おり、就学援助支給により負担軽減を図り、義務教育の円滑な実施を行っている。		○	○	○	○	
		評価	国の支給内容を見極めながら、その都度適切な改正を行っていく必要がある。		達成度合				
					A	A	A	A	
97	修学旅行費支援助成	事業内容	町内の中学校に在籍する中学3年生の修学旅行にかかる費用の一部を助成し、保護者負担の軽減に努めます。	学校教育課	達成状況				
		進捗状況	義務教育期間における負担が大きい中学校の修学旅行費を補助することで、保護者の負担軽減に繋がっている。		○	○	○	○	
		評価	負担額の推移などから適切な補助額としていくことが必要である。		達成度合				
					A	A	A	A	